

同月三十日  
二月十一日  
春分日  
三月三十一日  
四月一日  
四月七日  
四月八日  
四月十九日  
七月十日  
七月十一日  
九月十日

休業(孝明天皇祭)  
休業(紀元節)  
休業(春季皇靈祭)  
第二學期授業終ル  
春季休業始ル  
春季休業終ル  
第三學期授業始ル  
本校紀念日  
第三學期授業終ル  
夏季休業始ル  
夏季休業終ル

沿革略

第六高等學校ハ明治三十三年三月二十九日勅令第八十四号ニ據リ設置セララル同日勅令第八十六号ヲ以テ職員ノ員數ヲ定メラル  
四月十三日第三高等學校教授正六位酒井佐保學校長ニ任セララル  
十九日文部省告示第二百一十一号ヲ以テ本校ノ位置ヲ岡山縣岡山市大字門田字山手屋敷及大字國富字田中ト定メラレ假事務所ヲ文部省内ニ設ク  
同日文部省令第七号ヲ以テ本校ニ大學豫科ヲ設置セララル  
五月三十一日假リニ本校學則ヲ定メ大學豫科各部第一年級生徒ヲ募集ス  
六月十九日文部省内假事務所ヲ岡山市大字國富少林寺ニ

移ス

七月六日入學試験臨時委員ヲ第三高等學校職員ニ囑託シ  
第三高等學校ニ於テ入學試験ヲ施行ス受験者三百三十八  
人及第セシ者百二十九人

八月十五日入學試験ノ合格者ヲ悉ク各部第一年級ニ編入  
シ同時ニ生徒ノ制服制帽徽章ノ様式及ヒ生徒ノ番号ヲ定  
ム

此月教授書記及其他ノ職員ノ任命アリ校務分掌規程及事  
務員服務細則等校務執行ニ關スル諸般ノ細則ヲ定ム

九月一日岡山市大字小橋町國清寺ヲ借リテ假生徒寮ニ充  
テ此月六日ヲ期シ一般生徒ニ入寮スヘキヲ命スコレ當時  
本校新營事業未タ生徒寄宿舍ノ建設ヲ見ルニ至ラス然ル  
ニ土地ノ狀況ハ生徒隨意ノ散宿ヲ許サ、ルモノアリ德育

上衛生上全校生徒ヲ一定ノ場所ニ收容スル必要ニ迫ラレ  
シヲ以テナリ

六日假生徒寮ヲ開キ全校生徒ヲ悉ク之ニ收容ス

同日本校事務所ヲ本校内ニ移ス

此日教授飯塚啓御下賜ニ係ル 兩陛下並ニ皇太子殿下

ノ御眞影及教育ニ關スル敕語ノ謄本ヲ拜受シテ着任ス

十一及十二ノ兩日入學生徒ノ引見式ヲ行フ

十三日入學生徒ノ宣誓式アリ

十五日開校式ヲ舉行ス文部大臣伯爵樺山資紀専門學務局

長上田萬年以下文部省高等官數名ヲ從ヘテ臨場ス此日市

民ハ各戸ニ國旗ヲ掲ケテ祝意ヲ表ス

十六日地方人民ニ校舍ノ縦覧ヲ許ス來觀スル者無慮四萬

ト稱ス混雜名狀スベカラズ

十八日始メテ各學科ノ授業ニ就ク  
 十月二日從來ノ假學則ヲ改メ更ニ校則ヲ定ム其他擔任教  
 官並ニ級長副級長等ノ制ヲ定ム  
 二十二日擔任教官ヲ任命ス  
 二十三日假生徒寮ニ於ケル正副委員ヲ任命ス  
 明治三十四年一月八日御親署ノ敕語ヲ拜戴ス  
 五月二日 皇孫御降誕奉祝ノ爲メ臨時休業ス  
 七日生徒募集ニ關シ特別法ヲ設ケ此年ニ限り實施ス其特  
 例ニ屬スル事項ヲ舉クレハ左ノ如シ  
 (イ) 從來高等學校入學資格ハ中學校ヲ卒業シタル者ニシ  
 テ卒業後二ケ年内タルヲ要ストノ規定ナリシモ此年  
 ニ限り年限ノ制限ヲ廢シタルコト  
 (ロ) 中學校卒業者ニアラサル者ハ中學校ヲ卒業シタル志

願者ヲ以テ募集定員ヲ充サ、ル場合ニ限り補缺トシ  
 テ入學ヲ許可セラル、規定ナリシヲ本年ニ限り中學  
 校卒業者ニアラザルモノニハ豫備試験ヲ施行シ之ニ  
 合校シタル者ハ中學校卒業者ト同一ニ取扱フコト、  
 爲シタルコト但シ豫備試験ハ中學校ノ學科並ニ課程  
 ニ就キ施行スルコト、セリ  
 (ハ) 入學試験問題ハ各高等學校ニ於テ豫選シタル問題ニ  
 就キ文部省ニ於テ審査採擇スルコト、爲シタルコト  
 (ニ) 豫備試験ノ合格者ヲ除キ其他ノ者ハ各高等學校ノ中  
 ニ就キ受験スベキ學校ヲ選擇スルコトヲ得トナシタ  
 ルコト  
 其方法ハ入學志願者ヲシテ受験スベキ學校ヲ願書中  
 ニ表示セシメ入學ヲ許否スヘキ當該學校ハ受験者ノ

選ビタル學校ニ其試験ヲ委託スルコト、セリ但シ試験ノ委託ヲ受ケタル學校ハ答案ノ審査ニ預カラズ以上ハ當年高等學校長協議會ノ議定ニ依ルモノニシテ文部大臣ノ認可ヲ經テ施行シタルモノナリ

九日生徒寮規則ヲ定ム

十日寄宿舎ノ新築落成ヲ告ゲタルヲ以テ文部省總務局建築課ヨリ該建物ノ假引渡ヲ受ケ此日ヨリ新ニ生徒寮ヲ開キ國清寺ニ設ケタル假生徒寮ヲ廢ス

七月十七日文部大臣來校ス

八月二十五日校則中授業料ニ關スル規程ヲ改正ス從來ノ規定ニ於テハ一學年ノ授業料額貳拾圓ナリシモ改正規則ニ於テハ貳拾五圓ト爲シ明治三十四年九月以後ノ入學生ニ對シ實施スルコト、ナセリ

此月學級ノ増設ニ應ジ増加スベキ教授及講師等ノ任命アリ

九月三日博物學、化學、物理學ノ各特別教室ノ新築落成シタルニ依リ其引渡並ニ寄宿舎ノ本引渡ヲ文部省總務局建築課ヨリ受ク

明治三十五年一月書庫並ニ圖書閱覽室竣工シ茲ニ工事ニ關スル既定事業ヲ完成ス

三月二十七日敕令第九十八号ヲ以テ文部省直轄諸學校官制改正同日敕令第九十九号ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令制定セラレ本校職員ノ定員ヲ定メラル

四月二十五日文部省告示第八十二号高等學校大學豫科入學試験規程發布ニヨリ從來各高等學校ニ於テ各自施設シタル生徒入學ニ關スル事項ハ茲ニ文部本省事務ニ移ル

八月此學年ニ至リ三年級ノ新設ニヨリ授業組數ノ増加ニ  
伴テ増員ヲ要スル教授講師等ノ任命アリ  
九月十一日市内虎列拉病流行ニヨリ開校ヲ延期シ全月廿  
一日迄授業ヲ閉鎖ス此月生徒一部ニ市内散宿ヲ許シ同時  
ニ生徒番号ヲ廢ス本校ハ從來寄宿制度ヲ主義トナスト雖  
モ既設寄宿舎ハ本學年ニ至リ増加シタル生徒總員ヲ收容  
シ能ハザルニヨリ止ムヲ得ズ一時例外ノ方法ヲ採ルニ至  
リタリ  
明治卅五年三月七日生徒寮規程中ニ追加ス從來ノ規程ニ  
於テハ寮費ハ在寮日數ノ多少ニ拘ハラズ當月ノ全額ヲ徵  
收スルノ定メナリシモ在寮僅ニ數日ニ過キサレモノニ對  
シテハ稍適當ナラサルヲ以テ追加規定ニ於テハ月ノ十五  
日ヲ以テ區分シ十五日以前ニ退寮シ又ハ十六日以後ニ入

寮シタルモノハ半額トストナセリ  
六月三十日各部三年生六十人卒業ス  
七月三日第一回卒業證書授與式ヲ舉行ス

高等學校ニ關スル法令

(一) 高等學校令抄(明治廿七年六月  
敕令第七十五号)

第二條 高等學校ハ専門學科ヲ教授スル所トス但帝國大學ニ入學スル者ノ爲メ豫科ヲ設クルコトヲ得

第三條 高等學校ハ其附屬トシテ低度ナル特別學科ヲ設クルコトヲ得

第四條 高等學校ニ於テ設クル所ノ學科及講座ノ數ハ文部大臣之ヲ定ム

(二) 大學豫科修學年限及入學程度(明治二十七年七月  
文部省令第十六号抄)

第一條 第二項大學豫科ノ修業年限ハ三箇年トス

第二條 高等學校入學ノ程度ハ尋常中學校卒業ノ程度ニ依ル

(三) 高等學校大學豫科學科規程(明治三十三年八月  
文部省令第十三号)

第一條 高等學校大學豫科ノ學科ヲ分テテ第一部第二部及第三部トス

第一部ノ學科ハ法科大學及文科大學志望者ニ第二部ノ學科ハ醫科大學ノ藥學科(三十五年文部省令第十号ヲ以テ追加)工科大学理科大學理工科大学及農科大學志望者ニ第三部ノ學科ハ醫科大學志望者ニ課スルモノトス

第二條 第一部ノ學科ハ倫理、國語、及漢文、外國語、歴史、論理及心理、法學通論、體操トス

前項ノ學科ノ外文科大學志望者ニハ經濟通論ヲ課ス  
前二項ノ學科中文科大學哲學科志望者ニハ論理及心理ヲ缺キ數學物理ヲ課ス

外國語ハ英語、獨語及佛語ノ中ニ就キ二種ヲ選ハシム  
第一項ノ學科ノ外法科大學志望者ニハ隨意科トシテ羅

句語ヲ課スルコトヲ得

第三條 第二部ノ學科ハ倫理、國語、外國語、數學、物理、化學、地質及礦物圖畫、體操トス

前項ノ學科ノ外醫科大學ノ藥學科(三十五年文部省令第十号ヲ以テ追加)理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科並ニ農科大學志望者ニハ動物及植物ヲ課シ工科大学及理工科大学ノ土木工學科、機械工學科、電氣工學科、探鑛及冶金學科、工科大学ノ造船學科、建築學科、理科大學及理工科大学ノ數學科、物理學科、理科大學ノ星學科並ニ農科大學ノ農學科、農藝化學科、林學科志望者ニハ測量ヲ課ス  
外國語ハ英語ノ外獨語又ハ佛語ヲ選ハシム但シ工科大学及理工科大学ノ電氣工學科、應用化學科、製造化學科探鑛及冶金學科並ニ農科大學志望者ニハ必ス獨語ヲ選フ

へキモノトス

第一項ノ學科ノ外醫科大學ノ藥學科(三十五年文部省令第十号ヲ以テ追加)理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科並ニ農科大學ノ獸醫學科志望者ニハ隨意科トシテ羅旬語ヲ課スルコトヲ得

第四條 第三部ノ學科ハ倫理、國語、外國語、羅旬語、數學、物理化學、動物及植物、體操トス

外國語ハ獨語ノ外英語又ハ佛語ヲ選ハシム

第五條 各部各學科ノ每週授業時數ハ左ノ如シ

第一部

學科	年		
	第一	第二	第三
國語及漢文	六	五	四
倫理			一

計	學科						
	體操	經濟通論	法學通論	論理及心理	歷史	佛語	獨語
三〇	三				三	(九)	(九)
三一	三		二	三	(九)	(九)	(九)
三二 一九	三	(二)	二	三	(八)	(八)	(八)

備考 表中 ( ) ハ選擇科目ノ時數ヲ表シ [ ] ハ文科大學志望者ニノミ課スル時數ヲ表ス

文科大學哲學科志望者ニハ第三年ニ於テ國語ヲ缺ク且





地質及鑛物			二
圖畫	四	四	二
體操	三	三	三
計	三一	三一	三〇

第三年ニ於テ醫科大學ノ藥學科(三十五年文部省令第十号ヲ以テ追加)理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科並ニ農科大學ノ農學科、農藝化學科、獸醫學科志望者ニハ數學ヲ缺キ工科大學及理工科大學ノ土木工程學科、理學科、物理學科、建築學科、理科大學及理工科大學ノ數學科、物理學科及理科大學ノ星學科志望者ニハ化學ノ實驗ヲ缺キ理科大學ノ各學科、理工科大學ノ數學科、物理學科、純正化學科及農科大學志望者ニハ英語ヲ缺ク

醫科大學ノ藥學科(三十五年文部省令第十号ヲ以テ追加)理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科並ニ農科大學志望者ニ課スヘキ動物及植物ノ授業時數左ノ如シ

學科	第一	第二	第三
動物及植物			四

工科大學及理工科大學ノ土木工程學科、機械工學科、電氣工學科、採鑛及冶金學科、工科大學ノ造船學科、建築學科、理科大學及理工科大學ノ數學科、物理學科、理科大學ノ星學科並ニ農科大學ノ農學科、農藝化學科、林學科志望者ニ課スヘキ測量ノ授業時數左ノ如シ

學科	第一	第二	第三
測量			三

隨意科トシテ醫科大學ノ藥學科(三十五年文部省令第十号ヲ以テ追加)理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科並ニ農科大學ノ獸醫學科志望者ニ課スベキ羅旬語ノ授業時數左ノ如シ

學科	第一	第二	第三
羅旬語			二

第三部

學科	第一	第二	第三
倫理			一
國語	三		
獨語	一三	一三	一〇
英語又ハ佛語	三	三	三

獨語ヲ以テ入学シタル者ニ對シテハ外國語ノ授業時數ヲ左ノ如ク變更ス

學科	第一	第二	第三
羅旬語			二
數學	三	二	
物理		三	三
化學		三	三
動物及植物	四	三	三
體操	三	三	三
計	二九	三〇	三一

第六條 前條ノ各學科ハ生徒卒業後分科大學各學科ノ授業ヲ受クルニ足ルベキ豫備ノ程度ヲ以テ標準トナスベシ

第七條 學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ分科大學某科志望者ニ課スベキ一學科若シクハ數學科ヲ其學校ニ置カザルコトヲ得

附 則

第八條 本令ハ明治三十三年九月一日ヨリ施行ス

第九條 本令施行ノ際現ニ第二年又ハ第三年ノ課程ヲ修ムル者ニ就キテハ其卒業ニ至ルマテ文部大臣ノ許可ヲ受ケ舊規程ニ依リ若クハ新舊ノ規程ヲ斟酌シテ之ヲ教授スルコトヲ得

文部省訓令第九号(明治三十三年八月四日)  
(各高等學校ヘ訓令)

高等學校大學豫科ニ關スル現行ノ規程ハ概テ數年前ノ制定ニ係リ改正ヲ要スヘキモノ尠ナカラス茲ニ文部省令第十三号ヲ發布シ其學科規程ヲ改正シタルハ既往ノ實驗ニ徴シ特ニ緊急改正ノ必要ヲ認メタレハナリ依リテ左ニ其ノ要領ヲ表示シ併テ本大臣ノ意見ヲ開陳ス各學校長及教官ハ宜シク其意ヲ體シ該令ノ旨趣ニ副ハムコトヲ務ムヘシ高等學校大學豫科ハ帝國大學ノ豫備教育ヲ施ス處ナルヲ以テ大學ニ於ケル各専門學科ノ授業ヲ受クルニ必要ナル智識ヲ授クルヲ以テ目的トス豫備學科ノ區劃多岐ニ涉リ其修得スル所却リテ散漫ニ流ル、ガ如キハ務メテ之ヲ避ケサルヘカラス故ニ新規程ニ於テハ備豫學科ノ區劃ハ成ルヘク之ヲ大體ニ止メ各學科ノ配當及其授業時數等ニ適當ノ改正ヲ施シ以テ確實ナル豫備教育ノ本領ヲ完カラ

シメムコトヲ期シ  
 徳性ノ涵養ハ教育ノ第一義ニシテ高等學校ニ於テモ常ニ  
 意ヲ此ニ致シ其完成ヲ企圖スヘキハ固ヨリ辯ヲ俟タスト  
 雖モ舊規程ニ於テハ倫理科ノ授業時數ニ一定ノ規定ナキ  
 ヲ以テ各學校ニ於ケル施行ノ方法齊一ナラス概テ每週一  
 時ヲ割テ該科ノ教授ニ充テタルカ如シ抑モ高等學校ノ生  
 徒ハ既ニ小學ヨリ中學ニ至ルマテ多年ニ涉リテ實賤道徳  
 ノ教育ヲ受ケ來リタルモノナルヲ以テ高等學校ニ於ケル  
 倫理科ハ故ラニ修身ニ關スル授業ヲ施サス學校長常ニ徳  
 育ノ中心トナリ機ニ臨ミ生徒ヲ訓戒シ各教官ニ於テモ適  
 切ノ方法ニ依リ常ニ其ノ品性ヲ誘掖陶冶スルコトヲ務メ  
 第三年ニ至リ近世學理ノ上ヨリ人倫ノ大道ニ關スル稍高  
 尚ノ智識ヲ與ヘ平素學習セル科學上ノ智識トノ調和ヲ圖

リ以テ倫理教育ノ上圓滿ナル成果ヲ收メムコトヲ望ム  
 外國語ニ習熟セシムルハ各専門學科教授ノ豫備トシテ最  
 モ必要ナルニ拘ハラス之ヲ從來ノ經驗ニ徵スルニ高等學  
 校ヲ卒業シ進ミテ大學ニ入ル者ノ缺點ハ外國語ノ力ノ不  
 充分ナルニ在リ是レ改正規程ニ於テ各部ヲ通シテ著シク  
 其授業時數ヲ増加シタル所以ナリ而シテ此増加シタル時  
 間ニ於テハ適宜ニ科學ニ關スル外國ノ參考書等ニ習熟セ  
 シムベシ然レトモ語學ノ教授ハ單ニ授業時數ノ増加ノミ  
 ニ依リテ必スシモ其ノ進歩改善ヲ望ミ得ヘキニアラス教  
 授法ノ改善又隨テ之ニ伴ハサルヘカラス故ニ當該教官ハ  
 宜シク常ニ適切ナル教授法ヲ攻究シ改正ノ旨趣ヲ空シカ  
 ラシメザラムコトヲ要ス  
 第二部及第三部ニ於テ特ニ著シク國語及漢文ノ授業時數

ヲ減シタルハ該部専門學科ノ豫備トシテハ深ク文學上ノ智識ヲ授クルノ必要ナク能ク國語漢文ヲ調和シテ簡明達意ノ文ヲ綴リ得ルニ至ラシムルヲ以テ足レリトスレバナリ故ニ該部ニ於テハ其名稱ヲ改メテ單ニ國語トナシ一層此目的ニ適ハシメトス而シテ國語ト漢文トハ教育上最密接ノ關係ヲ有スル學科ナルヲ以テ第一部ニ於テ之ヲ教授スルニ方リテモ兩者ヲシテ成ルヘク相待チ相扶ケ以テ適當ナル融合調和ヲ圖ラムコトヲ要ス

其他改正ノ細目ニ就テハ敢テ茲ニ詳説セスト雖モ之ヲ要スルニ本改正ノ旨趣ニ基キ大學豫備教育ノ實質的改善ヲ完ツスルハ各學校長及教官ノ周到ナル用意ニ待ツモノ多シトス

(四) 第六高等學校設置(明治三十三年四月)  
(文部省令第七号)

第六高等學校ニ大學豫科ヲ設置シ明治三十三年九月十一日ヨリ授業ヲ開始ス

(五) 文部省直轄諸學校官制摘載(明治二十六年八月)  
(敕令第八十六号)

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

- 東京高等師範學校
- 廣島高等師範學校
- 女子高等師範學校
- 札幌農學校
- 盛岡高等農林學校
- 東京高等商業學校
- 神戶高等商業學校
- 第一高等學校
- 第二高等學校

第三高等學校  
第四高等學校  
第五高等學校  
第六高等學校  
第七高等學校造士館  
山口高等學校  
千葉醫學專門學校  
仙臺醫學專門學校  
岡山醫學專門學校  
金澤醫學專門學校  
長崎醫學專門學校  
東京高等工業學校  
大阪高等工業學校

京都高等工藝學校  
東京外國語學校  
東京美術學校  
東京音樂學校  
東京盲啞學校  
(本條ハ明治三十五年三月二十八日敕令第九十八号ヲ以テ改正)  
第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク  
校長 教授 助教授 書記  
第七條 校長ハ敕任又ハ委任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス  
第八條 教授ハ敕任又ハ委任トス生徒ノ教授ヲ掌ル助教授ハ判任トス教授ノ職務ヲ助ク

第九條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十七條 專任教官中其學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得ザル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時講師ヲ囑託シ其學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十八條 文部大臣ハ高等師範學校女子高等師範學校高等學校及ヒ東京工業學校教官ノ中ヨリ各附屬學校主事東京教育博物館主事附屬幼稚園主事專門學部主事ヲ命シ其事務ヲ掌ラシムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルベシ其委員ハ文部大臣之ヲ命ス

第二十條 本令ハ明治二十六年九月十一日ヨリ施行ス

(六) 文部省直轄諸學校職員定員令 (明治三十五年勅令第九十九号ヲ以テ發布 明治三十六年敕令二百一十一号ヲ以テ改正)

學校名稱	校長	教授	教諭	生徒監	助教授	教諭	訓導	保姆	助手	書記
東京高等師範學校	一	五〇	一〇	九	一一	一九			二	一一
廣島高等師範學校	一	八		二						五
女子高等師範學校	一	二六	七	二	八	一三	一八	七		七
札幌農學校	一	一四		一八						八
盛岡高等農林學校	一	三		三						四
東京高等商業學校	一	三〇		一四						九
神戸高等商業學校	一	三		二						三
第一高等學校	一	三七		九						七
第二高等學校	一	二四		五						六
第三高等學校	一	二四		七						六





個年以上高等官三等ニ在リテ特ニ功勞アル者ハ各校一人ヲ限リ高等官二等ニ陞叙セラル、コトアルベシ

第三條 文部省ノ直轄諸學校ノ專任生徒監ハ高等官四等以下トシ兼任生徒監ハ本官ノ官等ニ從フ

第四條 文部省直轄諸學校高等官ノ年俸ハ別表ニ依ル

第五條 文部省直轄諸學校教官ハ其授業ノ時間及學科ノ難易輕重ニ依リ最低額以下ノ年俸ヲ給スルコトアルヘシ

第六條 文部省直轄諸學校教官ニシテ一校若クハ數校ノ教官ヲ兼任スル者ニハ本官並ニ兼官ニ於ケル授業ノ時間及學科ノ難易輕重ニ應シ其ノ本官ノ俸給ヲ分割シテ各學校ヨリ支給スルコトヲ得

第七條 文部省直轄諸學校官制第十五條ニ依リ某學科ノ

授業ヲ擔任スル囑託講師ニハ教官俸給額ノ内ヨリ相當ノ手當ヲ給スルコトヲ得

別表

	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級	十三級
文部省直轄諸學校校長	三千圓	二千五百圓	二千圓	一千八百圓									
東京外國語學校校長	二千五百圓	二千圓	一千八百圓										
東京音樂學校校長	二千五百圓	二千圓	一千八百圓										
東京育英學校校長	二千圓	一千八百圓	一千四百圓	一千二百圓	一千圓	九百圓							
文部省直轄諸學校教授	二千五百圓	二千圓	一千八百圓	一千四百圓	一千二百圓	一千圓	九百圓	八百圓	七百圓	六百圓			
文部省直轄諸學校教諭	二千圓	一千八百圓	一千四百圓	一千二百圓	一千圓	九百圓	八百圓	七百圓	六百圓				
文部省直轄諸學校生徒監	二千圓	一千八百圓	一千四百圓	一千二百圓	一千圓	九百圓	八百圓	七百圓	六百圓				

(八) 官立學校及圖書館會計法抄(明治二十三年三月二十七日法律第二十六號)

一 文部省直轄學校ハ資金ヲ所有シ政府ノ支出金資金ヨリ  
 生スル收入授業料寄附金及其他ノ收入ヲ以テ其歳出ニ  
 充ツルコトヲ許シ特別ノ會計ヲ立テシム

一 學校ノ資金ハ從來所有スル蓄積金政府ヨリ交付若クハ  
 他ヨリ寄附シタル動産不動産及歳入殘餘ヨリ成ルモノ  
 トス

一 教員事務員ノ俸給、諸給旅費、器具器械圖書標本費、授業費  
 試験費生徒ニ關スル諸費、事務所費、營繕費、雜支出其他寄  
 附者ノ指定シタル費途ヲ以テ學校ノ歳出トス

一 學校ノ寄附金ニシテ特ニ用途ヲ指定シタルモノハ其約  
 束ニ從ヒ之ヲ使用シ其會計ハ別ニ之ヲ整理スベシ

一 政府ハ毎年各學校ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ  
 總豫算ト俱ニ之ヲ帝國議會ニ提出スベシ

一 學校ノ收入支出ニ關スル規定ハ別ニ敕令ヲ以テ之ヲ定  
 ム

高等學校大學豫科入學者選拔試驗規程(明治三十六年文部省告示第八十四号)

- 第一條 選拔試驗ヲ受ケントスル者ハ品行方正年齢滿十七年以上ノ男子ニシテ左号ノ一ニ該當シ且ツ體格検査ヲ受ケ之ニ合格スルヲ要ス
  - 一 中學校ヲ卒業シタル者
  - 二 明治三十五年文部省告示第八十二号ニ依ル試驗檢定ニ合格シタルコト
  - 三 專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタルコト
- 第二條 各高等學校ニ入學セシムヘキ生徒ノ概數ハ毎回之ヲ告示ス
- 第三條 選拔試驗ノ學科目ハ中學校ノ學科目(當分ノ内法政經濟及唱歌ヲ除ク)中ニ就キ毎回之ヲ告示ス

- 選拔試驗ノ程度ハ中學校卒業ノ程度ニ依ル
- 第四條 選拔試驗ハ各高等學校ニ於テ同時ニ之ヲ行フ
- 第五條 選拔試驗ノ出願期限及試驗期日ハ毎回之ヲ告示ス
- 第六條 選拔試驗ヲ受ケントスル者ハ其入學セントスル高等學校及修業セントスル部類(第一部甲類英吉利法律學科、政治學科、文科(逸逸文學科)、第一部乙類獨逸法律學科、佛蘭西文學科、佛蘭西文學科)第一類獨逸文學科、第一部丙類佛蘭西法律學科、佛蘭西文學科、第二部甲類理科、農科、醫科、內藥學科、第二部乙類理科、農科、醫科、內藥學科、第三部科ノ六部類ニ分ツヲ指定スヘシ
- 選拔試驗ヲ受ケントスル者ハ入學セントスル學校又ハ志望ノ部類二箇以上(部類ニ限ル)ヲ併セ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其入學セントスル學校及志望ノ部類ニ付其志望ノ順位ヲ定ムヘシ

第七條 選拔試験ヲ受ケントスルモノハ收入印紙ヲ以テ  
檢定料金四圓ヲ納ムヘシ一旦納メタル後ハ如何ナル事  
情アルモ之ヲ還付セズ

第八條 選拔試験ヲ受ケントスル者ハ別記様式ノ願書ニ  
履歷書、中學校卒業證書寫又ハ專門學校入學者檢定規程  
ニ依ル試験檢定合格證書寫若クハ高等學校入學豫備試  
驗合格證書寫及寫真(手札形)ヲ添ヘ試験ヲ受ケントスル  
高等學校ニ差出スベシ

第九條 選拔試験ヲ受ケタル者ハ之ヲ第一部第二部及第  
三部ノ三部ニ分類シ其試験ノ成績順ニ依リ各高等學校  
ニ於ケル各部募集ノ總員ト同數ナル人員ヲ選出シ其ノ  
内ニ就キ左ノ方法ニ依リ各高等學校ニ配當スルモノト  
ス

- 一 入學試験ノ成績順ニ依リ本人ノ指定スル第一ノ入學  
志望學校ニ於ケル第一ノ志望部類ニ配當ス
- 二 第一号ノ場合ニ於テ試験成績相同シキトキハ抽籤ニ  
依ル
- 三 第一号第二号ニ依リ配當ノ結果本人ノ指定スル第一  
ノ入學志望學校已ニ滿員トナリ配當スルコトヲ得サ  
ル者ニ付テハ更ニ成績順ニ依リ本人ノ指定スル第二  
以下ノ入學志望學校ニ於ケル第一ノ志望部類ニシテ  
缺欠アルモノニ配當ス
- 四 第三号ノ場合ニ於テ試験ノ成績相同シキトキハ入學  
志望學校ノ順序ニ依ル
- 五 第三号ノ場合ニ於テ試験ノ成績及入學志望學校ノ順  
序相同シキトキハ抽籤ニ依ル

六前數号ニ依リ配當ノ結果本人ノ志望スル學校悉ク満員トナリタルトキハ第一部又ハ第二部志望者ニ在リテハ更ニ本人ノ指定スル第二以下ノ志望部類ニシテ缺員アルモノニ配當ス其方法ハ第一号及至第五号ニ準ス

七前數号ニ依リ配當ノ結果本人ノ志望スル學校及部類悉ク満員トナリタルトキハ入學スルヲ得サルモノトス

前項ニ依リ配當ノ結果又ハ事故ノ爲メ入學者ニ缺員ヲ生シタルトキハ前項選出人員以外ニ就キ更ニ前項ノ方法ニ依リ之ヲ補填スヘシ

第十條 前條ニ依リ決定シタル高等學校入學者ノ氏名及學校名ハ官報ニ廣告シ且ツ本人ニ通知スルモノトス

(願書等様式略ス)

規 則

第六高等學校校則

第一章 校 規

第一條 總 則

第一條 本校ハ明治二十七年敕令第七十五号第二條ニ基

キ明治三十三年文部省令第七号ニ依リ大學豫科ヲ置ク

第二條 本校ノ學科ハ明治三十三年文部省令第十三号所

定ノ大學豫科第一部第二部及第三部トス

第二條 學科課程

第三條 本校大學豫科ノ學科ヲ分チテ第一部第二部及第

三部トス

第一部ハ法科大學及文科大學志望者ニ課スルモノニシ

テ其學科ハ左ノ如シ

倫理國語及漢文外國語歷史論理及心理法學通論體操

文科大學志望者ニハ前項ノ學科外ニ經濟通論ヲ課ス

文科大學哲學科志望者ニハ前二項ノ學科中論理及心

理ヲ缺キ數學物理ヲ課ス

外國語ハ英語及獨語ヲ課ス

法科大學志望者ニハ第一項ノ學科外ニ隨意科トシテ

羅旬語ヲ課ス

第二部ハ醫科大學ノ藥學科理科大學工科大學理工科大

學及農科大學志望者ニ課スルモノニシテ其學科ハ左

ノ如シ

倫理國語外國語數學物理化學地質及鑛物圖畫體操ト

ス

醫科大學ノ藥學科理科大學ノ動物學科植物學科地質

學科並ニ農科大學志望者ニハ前項學科ノ外ニ動物及植物ヲ課シ工科大學及理工科大學ノ土木工程學科機械工學科電氣工學科採鑛及冶金學科工科大學ノ造船學科建築學科理科大學及理工科大學ノ數學科物理學科理科大學ノ星學科並ニ農科大學ノ農學科農藝化學科林學科志望者ニハ測量ヲ課ス

外國語ハ英語及獨語ヲ課ス

醫科大學ノ藥學科理科大學ノ動物學科植物學科地質學科並ニ農科大學ノ獸醫學科志望者ニハ第一項ノ學科ノ外ニ隨意科トシテ羅旬語ヲ課ス

第三部ハ醫科大學志望者ニ課スルモノニシテ其學科左ノ如シ

倫理國語外國語羅旬語數學物理化學動物及植物體操

トス

外國語ハ獨語ノ外英語ヲ課ス

第四條 各學科每週授業時數左ノ如シ

(一) 大學豫科第一部英法科

表中印アルハ隨意學科トス

學科	第一學年	第二學年	第三學年
倫理			一
國語及漢文	六	五	四
英語	九	九	八
獨語	九	九	八
羅旬語			(二)
歷史	三	三	三
論理及心論		二	



(二) 大學豫科第一部獨法科							法學通論	體操	計
學科	年級	倫理	國語及漢文	英語	獨語	羅甸理	歷史	論理及心理	
第一	第一	六	四	四	一	三	三	三	
第二	第二	五	四	四	一	三	三	三	
第三	第三	一	四	四	二	三	三	三	
合計		一六	一六	一六	四	九	九	三〇	

(三) 大學豫科第一部文科							法學通論	體操	計
學科	年級	倫理	國語及漢文	英語	獨語	歷史	數學	物理	
第一	第一	六	四	四	一	三	三	三	
第二	第二	五	四	四	一	三	三	三	
第三	第三	一	四	四	二	三	三	三	
合計		一六	一六	一六	四	九	九	三〇	

數	獨	英	國	倫	學	(四) 大學豫科第二部工科				
						計	體	經	法	論
學	語	語	語	理	年	操	濟	學	理	
五	八	八	三		第一					
					年級					
					每					
					週					
					時					
					數	三〇	三			
四	七	七			第二				哲學	
					年級				〇	
					每	三一	三		其他	
					週				二	
					時					
					數					
六	四	四		一	第三	三二	三			
					年級	一九				
					每					
					週					
					時					
					數					

五十二

國	倫	學	(五) 大學豫科第二部理農藥學科				
			計	體	圖	測	化
語	理	年	操	畫	量	物	
三		第一					
		年級					
		每					
		週					
		時					
		數	三一	三	四		
		第二					
		年級					
		每					
		週					
		時					
		數	三一	三	四	三	
		第三					
		年級					
		每					
		週					
		時					
		數	三一	三	二	三	
		實					
		驗					
		三					
		〇					
		其					
		他					
		二					

五十三

英 語	獨 語	羅 甸 語	數 學	物 理	化 學	動 物 及 植 物	地 質 及 礦 物	測 量	圖 畫	體 操	計
八	八	五									三一
七	七	四			三				四	三	三一
林學 ○ 其他 四		動植、地質、獸醫、藥 (二) 其他 ○	藥學科、動植、地質、農學 農藝、獸醫各 ○ 其他六	三	講義三 實驗(數學、物理、星學各) 其他二	動植、地質、農科、藥 各科各四 其他 ○	二	數學、物理、星學、農學 農藝、林學、各三 其他 ○	理科各科、理工科、數學、 物理、純正化學、農科各科 各 ○ 其他二	三	三二 二九 〇

五十四

(六) 大學豫科第三部醫科

學 科	年 級	倫 理	國 語	獨 語	英 語	羅 甸 語	數 學	物 理	化 學	動 物 及 植 物
第一	年級每週時數		三	一三	三		三			四
第二	年級每週時數			一三	三		二	三	三	實驗 三
第三	年級每週時數	一		一〇	三	二		講義三 實驗三	講義三 實驗三	

五十五

體操	
計	三
	二九
	三〇
	三一
	三

第三款 學年學期及休業

第五條 學年ハ九月十一日ニ始マリ翌年九月十日ニ終ル

第六條 學年ヲ分チテ三學期トス

第一學期 九月十一日ヨリ翌年一月七日マテ

第二學期 一月八日ヨリ四月七日マテ

第三學期 四月八日ヨリ九月十日マテ

第七條 休業日左ノ如シ

日 曜 日

本校紀念日 四月十九日

秋季皇靈祭 秋 分 日

神嘗祭 十月十七日

天長節 十一月三日

新嘗祭 十一月二十三日

孝明天皇祭 一月三十日

紀元節 二月十一日

春季皇靈祭 春分日

冬季休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マテ

春季休業 四月一日ヨリ四月七日マテ

夏季休業 七月十一日ヨリ九月十日マテ

第四款 入學及在學

(本校ニ入學セント欲スル者ハ明治三十六年文部省告示第八十四号大學豫科入學試験規程ノ定ムル所ニ依ルベシ)

第八條 入學ノ期ハ每學年ノ初トス

第九條 第十條第十一條第十二條(明治三十五年文部省告示第八十二号ニヨリ刪除)

第十三條 願ニヨリ退學セシモノ及除名セラレタル者再入學ヲ願フトキハ詮議ノ上許可スルコトアルヘシ

第十四條 第一等級以上ニ入學志願ノ者ハ缺員アル場合ニ限り體格検査ヲ行ヒ第一等級ヨリ順次當該級ニ相當スル學術試験ノ上之ヲ許ス

第十五條 第十六條第十七條(全上)

第十八條 入學ノ許可ヲ得タルモノハ保證人二名連署セル在學保證書(第五号書式)ニ入學料ヲ添へ九月十日迄ニ差出スベシ

第十九條 入學料ハ金壹圓トス

第二十條 保證人ハ甲種乙種ノ二名トス甲種保證人ハ本校所在地ヨリ一里以内ニ居住シ乙種保證人ハ父兄若クハ親戚ニシテ孰レモ一家計ヲ立テ保證ノ責任ニ堪フヘ

キ成年以上ノ男子ニ限ル

第二十一條 保證人宿所ヲ轉シ或ハ改印セル等ノ場合ニハ直ニ其旨届出ツヘシ

第二十二條 保證人一時他ニ旅行セントスル時ハ委任狀ヲ附與シタル相當ノ代理者ヲ定メ其旨前以テ届出ツヘシ

第二十三條 保證人死亡スルカ又ハ旅行三ヶ月以上ニ互ルカ若クハ第二十條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ直ニ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ在學保證書ヲ改訂スヘシ

第二十四條 生徒宿所ヲ變シタルトキハ速ニ届出ツヘシ

第二十五條 生徒戶籍上ニ異動ヲ生シタルトキハ保證人速署届出ツヘシ

書式

第一号乃至第四号書式

(明治三十五年文部省告示第八十二号ニヨリ删除)

一第五号書式 (美濃紙ニツ折)

在學保證書

二錢  
印紙

本族籍(戸主又ハ何某何男若クハ弟等)  
宿所 何 某 印

生年月日

前文何某在學中ハ勿論御校ノ學籍ヲ脱シ候後ト雖トモ同人ニ係ル一切ノ事件ハ私共ニ於テ引受可申此段保證候也

本族籍及宿所  
甲種保證人 何 某 印  
年 月 日 生年月

本族籍及宿所並ニ本人ニ對スル關係

乙種保證人 何 某 印

生年月

第六高等學校長宛

第五款 退學及除名

第二十六條 生徒疾病其他事故ニ依リ退學セント欲スルトキハ其事由ヲ詳記シ保證人連署ノ上願出ツヘシ

第二十七條 左ノ諸項ノ一ニ當ルモノハ除名ス

一 正當ノ理由ナクシテ三ヶ月以上引續キ缺席スル者又

ハ出席數三ヶ月間僅ニ數回ニ止マル者

二 出席常ナラザル者

三 同一ノ級ニ於テ二回同級ニ止マル者

四 授業料寮費ノ怠納三十日以上ニ及フ者

前項第三号ノ回數ニハ一年志願兵服役ノ爲同級ニ止ル回數ヲ含マス

第六款 休學

第二十八條 第二學期以前ニ於テ疾病ニ罹リ三ヶ月以上修學スルコト能ハサルモノハ願ニ依リ其學年間休學ヲ許可ス

但休學ノ許可ハ同一學級ニ在ル間ハ一回ニ限ル

第二十九條 休學セント欲スル者ハ本校指定ノ醫師又ハ公私立病院ノ診斷書ヲ添へ保證人連署願出ツヘシ

第三十條 休學ノ許可ヲ得タル者ハ次學年ノ始ヨリ其原級ニ入リ修學セシム

但休學中疾病平癒スルトキハ許可ヲ得テ出席スルコトヲ得

第三十一條 第一學期ヲ終リタル後一年志願兵ニ服役スル者ハ其服役中休學シ次學年ノ第二學期ヨリ其原級ニ復スルコトヲ得

第七款 授業料

第三十二條 授業料ハ一學年金貳拾五圓トシ左ノ三期ニ分納セシム

第一期 九月十一日ヨリ二十四日迄ニ納付 九 圓

第二期 一月八日ヨリ二十一日迄ニ納付 八 圓

第三期 四月八日ヨリ二十一日迄ニ納付 八 圓

但シ明治三十三年九月入學シタルモノニ限り其卒業ニ至ルマテ一學年ノ授業料額ヲ貳拾圓トシ其分納額ハ第一期八圓第二期及第三期各六圓トシ納付期日ハ前項ニ準ス

(本條ハ明治三十四年八月改正)

第三十三條 授業料ハ缺課停學休學等ノ爲免除セス但一年志願兵服役ノ爲ノ休學ハ此限ニアラス

第三十四條 中途退學シ若クハ放校又ハ除名セラレタル場合ト雖トモ既納ノ授業料ハ還附セス又未納ニ係ル授業料分納額ハ直ニ保證人ヨリ徴收スヘシ

第三十五條 定期日內ニ授業料ヲ納付セサル者ハ未納中停學ヲ命シ其怠納三十日以上ニ及フモノ除名ス

第八款 試業及卒業

第三十六條 試業ヲ分チテ通常試業學期試業及學年試業ノ三種トス

第三十七條 通常試業ハ課業進歩ノ程度ニ應シ臨時之ヲ施行ス



第三十八條 學期試業ハ第一學期及第二學期ノ終ニ於テ  
學年ノ始メヨリ當該學期ノ終ニ至ル間ニ履修シタル課  
業ニ就テ施行ス

第三十九條 學年試業ハ第三學期ノ終ニ於テ當該學年中  
ニ履修シタル課業ニ就テ施行ス

第四十條 試業評點ハ各課目百ヲ以テ最高點ト定ム

第四十一條 各課目學期評點ハ學期試業評點及通常試業  
評點ノ平均數トス

日常課業ノ成績ニ就キ採點スルトキハ之ヲ以テ前項ノ  
通常試業評點ニ充テ日課評點ノ外通常試業ヲ行フトキ  
ハ其成績ノ平均數ヲ以テ前項ノ通常試業評點ニ充ツル  
モノトス

第四十二條 各科目學年評點ハ每學期評點平均數ヲ二倍

シ之ニ學年試業評點ヲ加ヘ其和ヲ三除シタルモノトス  
一課目ノ授業一學期內ニ終了シタルトキハ其學期評點  
ヲ學年評點ニ充ツルモノトス

第四十三條 學年ノ終ニ於テ學年總評點六十以上ニシテ

左ノ各項ノ一ニ當ル者ハ進級又ハ卒業セシム

但缺席度數又ハ日數多キ者ハ此限ニアラズ

第一項 學年評點六十未滿ノ課目ナキ者

第二項 學年評點六十未滿ノモノ一課目アルモ其評點  
五十以上ノ者又ハ其評點五十以下四十以上ニシテ學

年試業點或ハ學期評點平均數六十以上ノ者

第三項 學年評點六十未滿ノモノ二課目アルモ其評點  
孰レモ五十以上ノ者

第四項 學年評點六十未滿ノモノ三課目以上アルモ其

數履修セル總課目ノ三分ノ一或ハ三分ノ一以下ニシ  
 テ該課目皆學年評點五十以上學年試業點或ハ學期評  
 點平均數六十以上ノ者

第四十四條 凡テ原級ニ止メタル者ニハ次學年ノ始メヨ  
 リ該學級ノ全學科ヲ再修セシム

第四十五條 病氣又ハ萬止ムヲ得サル事故ニ依リ學期試  
 業又ハ學年試業ヲ受クルコト能ハサル者其病氣ニ依ル  
 モノハ本校醫員又ハ兼テ本校ヨリ指定セル病院ノ診斷  
 書ヲ添ヘ其事故ニ係ルモノハ保證人連署ノ上試業當日  
 中又ハ其以前ニ追試業ヲ願出ツルトキハ評議ノ上特ニ  
 之ヲ許可スルコトアルヘシ

但學年追試業ハ該試業課目ノ學期評點平均數六十以  
 上ノモノニアラサレハ之ヲ許サス

第四十六條 卒業評點ハ各學年評點ノ平均數トス

第四十七條 學年評點及卒業評點ハ學年ノ終リニ於テ之  
 ヲ揭示シ且保證人ニ通知ス

第四十八條 所定ノ課程ヲ履修シ卒業セルモノニハ卒業  
 證書ヲ授與ス其書式左ノ如シ

卒業證

府縣族籍

何

某

何年何月生

右者本校ニ於テ大學豫科第一(二)(三)部ノ何學科  
 (學科目ヲ列記ス)ヲ修メ正ニ其業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ノ

校日印

第六高等學校長位勳學位爵姓名印

番号

年月

第九款 特待生

第四十九條 品行方正學術優等ナル生徒ヲ選ヒテ本校ノ特待生ト爲ス

第五十條 特待生ハ每學年ノ終ニ於テ其學年ノ成績ニ依リ學校長之ヲ定ム

第五十一條 特待生ハ授業料ヲ徴收セス

第五十二條 特待生ニシテ期限中ト雖トモ其資格ニ不適當ノ廉アリト認ムルトキハ直チニ之ヲ解除ス

第十款 懲戒

第五十三條 几品行不良或ハ校規風儀ヲ紊亂シ其他生徒ノ本分ニ背戾スルトキハ單ニ形跡ノミニ拘ハラズ主トシテ德義ニ基キ之ヲ懲戒ニ處ス

第五十四條 懲戒ハ之ヲ分チテ戒飭停學禁足放校ノ四ト

ス

第五十五條 戒飭ハ訓戒ヲ加ヘ停學ハ教室ニ於テ就學スルヲ停止シ禁足ハ生徒寮ヨリ外出スルヲ停止シ放校ハ

本校ヨリ放逐スルモノトス

第五十六條 他ノ規程ニ明文アルモノハ之ニ據リ處分ス

第十一款 生徒心得

第五十七條 本校生徒タル者ハ教育ニ關スル 聖教ヲ奉體シ須臾モ之ヲ忽忘スヘカラス

第五十八條 本校生徒ハ左ノ三項ヲ服膺スヘシ

第一項 志操ヲ固クシ學業ヲ勵ミ身體ヲ健全ニスヘキ事

第二項 規律ヲ守リ恭順ヲ重シ放肆ノ行爲アルヘカラスル事

第三項 信義ヲ重シ廉恥ヲ尙ヒ浮薄ノ舉動アルヘカラ  
サル事

第十二款 服 制

第五十九條 生徒ハ本校所定ノ制服及制帽ヲ着用スヘシ  
第六十條 被服及帽子ノ制式ハ左ノ如ク定ム

冬 服

製式 立襟褙形角ノ脊廣形

品質 「ヘル」

色 紺

鈕釦 色黄、品質眞鍮、本校ノ徽章ヲ附セルモノ

夏 服

製式 冬服ニ同シ

品質 小倉

色 鼠

鈕釦 冬服ニ同シ

帽

製式 海軍形

品質 羅紗

色 黒

帽 章

製式 本校所定ノ徽章

白線二條(上線幅一分下線幅三分)

品質 眞鍮

色 黄(在寮生ハ其色ヲ類ニス)

第十三款 文庫規程

第六十一條 文庫ハ本校ノ圖書器械標本類ヲ貯藏スル所

トス  
 第六十二條 文庫ニ圖書閱覽室及特別學科ニ屬スル器械標本室ヲ設ク  
 第六十三條 文庫課員ノ外圖書器械標本類ノ出納ヲナスコトヲ得ス  
 第六十四條 本校職員ニ限リ職務上必要ナル圖書ヲ借受ケ之ヲ文庫外ニ持出スコトヲ得  
 第六十五條 總テ教室及ヒ實驗室ニ備付ヲ要スル器械標本類ハ其學科主任教官之ヲ借受ケ之カ保管ニ任ス  
 第六十六條 本校職員圖書器械標本類ヲ借受ケント欲スルトキハ所定ノ借用証書ヲ差出スヘシ  
 第六十七條 借受ケタル圖書ノ使用ヲ終リタルトキハ直チニ返納スヘキハ勿論毎年豫定ノ期日迄ニ悉ク返納ス

ヘシ  
 但時宜ニ依リ臨時返納セシムルコトアルヘシ  
 第六十八條 總テ貸附セル器械標本類ハ每學年末指定ノ期日ニ於テ文庫課員立合ノ上調査スヘシ  
 第六十九條 凡ソ借受ケタル圖書器械標本類ヲ汚漬毀損若クハ紛失シタルトキハ其事情ニ依リ相當ノ修繕ヲ加ヘシメ又ハ同一ノ代品ヲ以テ之ヲ償ハシムルコトアルヘシ  
 第七十條 前條ノ場合ニ於テハ借受者ハ速ニ其理由ヲ詳記シタル屆書ヲ文庫主任宛差出スヘシ  
 第七十一條 圖書器械標本類ハ一切生徒ニ貸付セス但シ圖書閱覽室備附ノ圖書ハ此限ニ非ラス  
 第七十二條 本校職員ニ非ラサルモ學術篤志ノ者ニシテ

圖書閱覽ヲ出願スルトキハ學校長特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第十四款 生徒寮規程

第七十三條 生徒寮ハ本校生徒ノ常ニ起臥シテ身體ヲ鍛鍊シ學術ヲ自修シ品性ヲ陶冶スル處トス

第七十四條 在寮生ハ本校生徒心得ノ趣旨ヲ修身ノ綱領トナスヘシ

第七十五條 本校ヨリ通學ヲ命スル場合ノ外本校生徒ハ總テ生徒寮ニ入寮スヘキモノトス

第七十六條 本校生徒ハ入寮ノ際左ノ書式ニ從ヒ在寮誓書ヲ差出スヘシ

但シ在寮誓書ノ保證人ハ在學保證書保證人ト同人タルヘシ

印紙

在寮誓書

私儀今般御校生徒寮ニ入寮致候ニ付テハ生徒寮規則第一條ノ趣旨ヲ遵守シ其他諸規則堅ク相守リ可申此段相誓候也

本籍住所番地

族籍

何科何年生

年月日

姓名

生年月

前書何某入寮致候ニ付テハ在寮中ハ勿論退寮後ト雖モ同人在寮中ニ係ル事件ハ拙者共ニ於テ一切負擔可致候也

本族籍  
現住所  
本人ニ属スル關係  
職業  
甲種保證人 姓 名 生年 月

本族籍  
現住所  
本人ニ對スル關係  
職業  
乙種保證人 姓 名 生年 月

第六高等學校校長何誰殿

第七十七條 病氣又ハ已ヲ得サル事故ニヨリ缺課セント欲スルモノハ其事由ヲ詳記シ本校寮務課ノ鑑査ヲ受ケ

教務課へ届出ツヘシ缺課ノ理由疾病ニ出ルモノハ別ニ校醫ノ診斷書ヲ添フヘシ

第七十八條 在寮生ハ毎月定日マテニ寮費ヲ納メ食料ヲ支拂フヘシ

第七十九條 寮費ハ一ヶ月金七拾五錢トシ食料ハ時價ニ從ヒテ定ム

但當月十五日以前ニ退寮シ又ハ十六日以後ニ入寮シタル者ノ寮費ハ半額トス(三十六年三月追加)

第八十條 定期日内ニ寮費ヲ納メサルモノハ停學ヲ命シ其未納三十日ニ及フモノハ除名ス

第八十一條 在寮生ハ嚴ニ飲酒喫煙ヲ禁ス

第八十二條 在寮生ハ猥リニ退寮ヲ許サス

第八十三條 傳染病若シクハ容易ニ平癒ノ見込ナキ疾病

ニ罹リタル者ハ退寮セシム

第八十四條 本寮所屬ノ物件ヲ汚損破毀若シクハ紛失シタル者ハ辨償セシメ情狀ニヨリテハ懲戒ニ處ス

第十五款 第六高等學校物品會計規程細則

第一條 當校所要ノ物品ハ會計課ヨリ之ヲ支給ス

第二條 通常所要ノ備品消耗品ハ豫定數ニ基キ物品會計官吏ニ於テ一回又ハ數回ニ交付ノ手續ヲナスヘシ

但學術用圖書器械標本實驗用品其他臨時所要ノ物品ハ所要ノ都度請求スヘシ

第三條 各部ニ於テ臨時所要ノ物品アルトキハ規定ノ請求用紙ニ品名數量所要ノ事由等ヲ詳記シ當該首席者ヲ經由シテ會計課ニ差出スヘシ

但シ注文上圖按ヲ要スルモノハ之ヲ添付スヘシ

第四條 會計課ニ於テ前條物品ノ請求ヲ受ケタルトキハ

必要ニシテ適當ナルヤ否ヲ調査シ正當ト認メタルトキハ會計主任及物品會計官吏ヲ經テ校長ニ提出シ受入及支給ノ命令ヲ受ケ購入ノ手續ヲナスヘシ

第五條 物品監守者ハ會計課ヨリ物品ヲ受領シタルトキハ帳簿又ハ證書ニ捺印シテ受領ヲ證スヘシ

第六條 各部ニ於テ不用ニ屬シタル物品アルトキハ監守者ニ於テ規定ノ返付用紙ニ品目數量受領年月日等ヲ記入シ現品ト共ニ直ニ會計課ニ返付スヘシ

第七條 各部ヨリ不用ニ屬シタル物品ノ返付ヲ受ケタルトキハ物品會計官吏之ヲ調査シ爾後使用ニ堪ユヘキモノハ之ヲ保管シ其目的ナシト認メタルモノハ處分按ヲ具シ物品檢閱委員ノ審査ヲ經テ校長ノ裁決ヲ乞フヘシ



第八條 物品監守者更替シタルトキハ新監守者備品其他ノ監守簿ニ其受繼年月日ヲ記入シ且ツ記名捺印スヘシ

第九條 職員分課ヲ轉シタルトキ從前受領ノ物品ヲ襲用セントスルモノハ甲課ニ於テハ返付ノ手續ヲナシ乙課ニ於テハ更ニ受領ノ手續ヲナスヘシ

第十條 職員轉免等ニテ不要ニ屬シタル物品ハ當該監守者ニ於テ取纏メ會計課ニ返付スヘシ

第十一條 本規程第九條ニ依リ物品會計官吏ハ左ノ帳簿ヲ設クヘシ

- 一 備品出納簿
- 一 圖書出納簿
- 一 機械出納簿
- 一 標本出納簿

以上ノ四帳簿ハ備品、圖書、機械及標本ノ出納即チ品目數量價格納人名及渡シ先等ヲ登記シ其現在高ヲ明瞭ニスルモノトス

但シ圖書出納簿ハ部門毎ニ機械出納簿標本出納簿ハ各學科ニ區分シ口座ヲ設クヘシ

當分標本出納簿ハ器械出納簿中ニ別口座ヲ設ケ登記スルコトヲ得

一 消耗品出納簿

本簿ハ消耗品ノ出納即チ品目數量價格納人名及渡シ先等ヲ登記シ其現在高ヲ明瞭ニスルモノトス

一 備品支給簿

本簿ハ命令文書ニ基キ備品ヲ支給シタルトキ其品目數量番号受授年月日等ヲ登記シ其現在高ヲ明瞭ニス

ルモノトス

一 通常消耗品支給簿

本簿ハ支給定數ニ基キ支給スル物品ノ品目數量等ヲ記入シ監守者ヲシテ受領ノ印ヲ捺セシムルモノトス

第十二條 文庫課ニ於テハ圖書監守ノ爲左ノ帳簿ヲ設クヘシ

一 圖書監守簿

本簿ハ部門毎ニ口座ヲ設ケ圖書名冊數受授年月日等ヲ登記シ其現在高ヲ明瞭ニスルモノトス

但圖書原簿ヲ以テ本條ノ監守簿ニ代用スルコトヲ得

第十三條 物理學教室、化學教室、生物學教室、地質及礦物學教室、圖書及測量教室、体操科ニ於テハ器械及標本監守ノ

爲メ左ノ帳簿ヲ設クヘシ

一 機械監守簿

一 標本監守簿

本簿ハ各學科所屬ノ器械及標本ノ品目個數受授年月日等ヲ登記シ其現在高ヲ明瞭ニスルモノトス

但シ當分備品監守簿中ニ別口座ヲ設ケ登記スルコトヲ得

第十四條 各部ニ於テハ物品ノ監守及遺拂高ヲ明確ニスル爲メ左ノ帳簿ヲ設クヘシ

一 備品監守簿

本簿ニハ備品ノ品目個數記番号及受授年月日等ヲ登記シ其現在高ヲ明瞭ニスルモノトス

一 通常消耗品受拂簿

本簿ニハ支給定數ニ依リ受領シタル通常消耗品ヲ毎品口座ヲ設ケ其受拂ヲ明記スルモノトス

一通常消耗品殘額報告簿

本簿ハ通常消耗品ノ毎期末殘額ヲ登記シ會計課ニ報告スルトキ用ユルモノトス

第十五條

各部ニ於テハ三ヶ月毎ニ前期末ニ於ケル通常消耗品ノ殘額ヲ翌月五日迄ニ會計課ニ報告スヘシ

但シ毎期末ノ殘額ハ之レヲ翌期ノ支給額ニ算入スルコトアルベシ

第十六條

使用中ノ物品ハ物品會計官吏左ノ事項ニ依リ之ヲ監督スヘシ

一毎年一回備品支給簿及消耗品支給簿ニ依リ各掛ニ付キ現品ヲ査閱シ及各掛ノ備品監守簿消耗品受拂簿ノ

調査ヲナシ意見アルトキハ校長ニ申報スルコト

一前項ノ場合ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ使用上ニ付意見アルトキハ校長ニ申報シ其處分ヲ求ムルコト

第十七條

物品ヲ毀損シ或ハ紛失シタルモノアルトキハ物品監守ニ於テ其事實ヲ詳記シ當該首席者之レヲ證明シテ物品會計官吏ニ報告スヘシ

但シ物品會計官吏ニ於テ保管セル物品ヲ毀損シ或ハ紛失シタルトキハ本文ニ準シ直ニ會計主任ニ報告スヘシ

第十八條

物品會計官吏前條(但書ヲ)ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ會計主任ニ回付シ會計主任ハ物品檢閲委員ト共ニ其事實ヲ審査シ處分按ヲ具シテ校長ノ裁定ヲ乞フヘシ

シ

第十九條 本規程第十四條第一項ニ依リ校長ハ物品檢閲委員ヲ設ケ毎年其時日ヲ定メテ或ハ臨時ニ當校所有物品ノ保管及使用并消費上ノ可否ヲ檢査セシム

第二十條 物品檢閲委員ハ委員長一名委員若干名トシ毎年六月之ヲ任命シ其任期ハ翌年五月ニ終ル

第二十一條 物品檢閲ノ期日及檢閲委員ノ氏名ハ豫メ各部へ通牒スルモノトス

第二十二條 物品檢閲委員ノ檢査スヘキ要項ハ左ノ如シ

- 一 物品保管ノ適否
- 一 物品使用ノ適否
- 一 物品缺損ノ有無
- 一 備品及消耗品支給定數ノ過不及

一 其他ノ事項

第二十三條 物品檢閲ノ際ハ在庫ノ物品ニ付テハ物品會計官吏若クハ代理者使用中ノ物品ニ付テハ物品監守者又ハ物品取扱主任者其席ニ列シ檢閲委員ノ質問ニ答フヘキモノトス

第二十四條 物品檢閲委員ニ於テ檢閲上故障アルトキハ當該責任者ヨリ顛末書ヲ差出サシムヘシ  
但シ顛末書ニハ當該主席者ノ檢印ヲ要ス

第二十五條 物品檢閲委員其檢閲ヲ終リタルトキハ檢閲ノ情况及物品一般ノ現情並ニ物品ノ使用及支給上ノ適否ニ付意見ヲ具シ校長ニ申報スヘシ

第二十六條 物品檢閲委員長ハ物品檢閲上必要ナリト認ムルトキハ校長ノ認可ヲ經テ書記ヲ設ケ校員ヲ以テ之

ニ充ツルヲ得  
第二十七條 本規程第十八條ニ依リ設定セル帳簿ノ様式ハ別紙ノ如シ

(別紙略)

第二章 細則

第一款 校務分掌規程

第一條 校務ヲ分掌セシムル爲メ左ノ各課ヲ置ク  
教務課  
庶務課  
會計課  
文庫課  
第二條 主幹及各課ニ主任ヲ置ク

但寮務主任ハ生徒監之ニ任シ會計主任ハ公定ノ者ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 主幹及各課ノ主任ハ學校長教授中ニ就キ之ヲ命ス

但シ時宜ニヨリ其他ノ職員ニ主任心得ヲ命スルコトアルヘシ

第四條 主幹ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ校務ヲ整理ス

第五條 各課ノ主任ハ學校長及主幹ノ指揮ヲ受ケ當該課ニ關スル事務ヲ掌理スヘシ

第六條 各係及課員ハ上官ノ指揮ヲ受ケ各其職務ニ従事ス

第七條 教務課ニ於テ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 教室及日課配當ニ關スル事項

- 二 教科書ニ關スル事項
- 三 教授上設備ニ關スル事項
- 四 教授會及其議事録ニ關スル事項
- 五 教務通知簿ニ關スル事項
- 六 生徒募集ニ關スル事項
- 七 生徒ノ入學、在學、退學、休學ニ關スル事項
- 八 生徒ノ學籍ニ關スル事項
- 九 卒業生ニ關スル事項
- 十 學級編成ニ關スル事項
- 十一 試業及其成績ニ關スル事項
- 十二 生徒ノ出缺席ニ關スル事項
- 十三 生徒ノ願何屆等ニ關スル事項
- 十四 生徒ノ懲戒ニ關スル事項

第七條

- 十五 特待生、級長及副級長ニ關スル事項
- 十六 生徒證明書等ニ關スル事項
- 十七 生徒修學旅行等ニ關スル事項
- 十八 參觀人取扱ニ關スル事項
- 十九 前項ノ外教務ニ關スル事項
- 一 寮務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 二 生徒寮及生徒扣所ニ關スル事項
- 三 生徒ノ風紀及衛生ニ關スル事項
- 四 生徒ノ體格檢查ニ關スル事項
- 五 生徒ノ訓戒及取締ニ關スル事項
- 六 生徒ノ懲戒ニ關スル事項
- 七 生徒ノ保證人ニ關スル事項
- 七 生徒ノ集會運動會等及文書類ニ關スル事項

- 八 生徒寮所屬ノ寮丁及賄方取締ニ關スル事項
- 九 前項ノ外生徒寮ニ關スル事項
- 第八條 庶務課ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 校印ノ保管ニ關スル事項
- 二 校長ノ官印保管ニ關スル事項
- 三 職員及學校醫雇員ノ身分ニ關スル事項
- 四 雇外國人ニ關スル事項
- 五 各課成按文書回議ノ審査ニ關スル事項
- 六 公文書類ノ起案記録ノ編纂及保管ニ關スル事項
- 七 公文書類ノ接受發送ニ關スル事項
- 八 諸規則ノ創定變更等ニ關スル事項
- 九 一覽、統計報告等ニ關スル事項
- 十 命令簿庶務通知簿ニ關スル事項

- 十一 儀式次第ニ關スル事項
- 十二 當直ニ關スル事項
- 十三 寄附願ニ關スル事項
- 十四 生徒ノ徴兵ニ關スル事項
- 十五 各課ノ主掌ニ屬セサル事項
- 第九條 會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 資金ニ關スル事項
- 二 豫算及決算ニ關スル事項
- 三 收支及證明ニ關スル事項
- 四 仕拂命令發行委託ニ關スル事項
- 五 官有財産ノ保管及建築營繕ニ關スル事項
- 六 生徒學資金ニ關スル事項
- 七 物品ノ購買修繕ニ關スル事項

- 八 物品ノ出納保管及證明ニ關スル事項
- 九 日傭人足ノ傭入及取締ニ關スル事項
- 十 本校内外ノ草取及掃除ニ關スル事項
- 十一 樹木ノ手入下水ノ浚渫等ニ關スル事項
- 十二 飲料水ニ關スル事項
- 十三 不用物品處分ニ關スル事項
- 十四 巡視門衛校丁給仕ノ進退及取締ニ關スル事項
- 十五 警備及消防ニ關スル事項
- 十六 前項ノ外會計ニ關スル事項
- 第十條 文庫課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 圖書及器械ノ監守、保管及出納ニ關スル事項
  - 二 圖書印ノ保管ニ關スル事項
  - 三 圖書及器械ノ貸付ニ關スル事項

- 四 圖書閱覽室及其取締ニ關スル事項
- 五 圖書及器械ノ目錄編纂及整理ニ關スル事項
- 六 新聞雜誌年報一覽等ノ保管及出納ニ關スル事項
- 七 前項ノ外圖書及器械ニ關スル事項
  - 第二款 事務員服務規程
    - 第一 事務員
      - 第一條 事務員ハ執務時限前ニ昇校シ直ニ出勤簿ニ捺印スヘシ
      - 第二條 當日ニ生シタル事務ハ可成即日處辨スヘシ若シ即日處辨スヘキ事務ニシテ執務時間中ニ處辨シ終ラサルモノアルトキハ退校時限ニ至ルト雖トモ事務處辨ノ後ニアラサレハ退校スルコトヲ得ス
      - 第三條 監督上官ヨリ特ニ命令アルトキハ執務時間外又



ハ休日ト雖トモ執務スヘシ

第四條 疾病其他ノ事故ニヨリ遅刻セントスルトキ又ハ出勤シ難キ時ハ其事由ヲ具シ執務時限前ニ學校長ニ届出ツヘシ但シ疾病ノ爲メ缺勤一週間ニ及フトキハ届書ニ醫師診斷書ヲ添フルヲ要ス爾後一週間毎ニ同様ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 執務時間中發病其他ノ事故ニ依リ執務ノ場所ヲ離レントスルトキハ其事由ヲ申告シテ學校長ノ許可ヲ受クヘシ若シ學校長ノ許可ヲ得ルノ違ナキトキハ主幹ノ許可ヲ受クヘシ

第六條 父母ノ忌日ニ丁リ祭典ヲ舉行スル爲メニ不參セムトスルモノハ其旨前日中ニ届出ツヘシ

第七條 親屬ノ喪ニ遇ヒ忌服ヲ受クルトキハ死者ノ氏名

並ニ死者トノ親族關係ヲ表示シタル忌引届ヲ差出スヘシ

第八條 新任ノ者ハ七日以内ニ履歷書印鑑及宿所届ヲ差出スヘシ爾後改印轉居等ハ其都度届出ツヘシ

第九條 出張ノ命ヲ受ケタルモノハ出發ノ際及歸校ノ際共其旨學校長ニ届出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テハ歸校後五日以内ニ復命書ヲ學校長ニ提出スヘシ若シ學術研究ノ爲メ出張ヲ命セラレタル場合ニ在リテハ研究ノ結果ヲ報告スヘシ

第十條 出張旅費請求書ハ歸校後三日以内ニ差出スヘシ又出張先ニ於テ必要ノ物品ヲ購入シタルトキハ規定ノ領收證ヲ徴シ歸校後三日以内ニ仕譯書ヲ添ヘテ會計主任ニ回附スヘク郵便電信ヲ以テ公翰ヲ發シタルトキハ

其種類員數等ヲ詳記シテ回附スヘシ  
 前項物品ノ購入ニ付テハ學校長ノ認可ヲ經ルヲ要ス  
 第十一條 轉免ノ節ハ事務及物品等ノ引繼ヲ爲スヘシ引繼ハ書面ヲ作り受渡者双方連署ヲ以テ届出ツヘシ  
 第十二條 火器其他危險物ニ付テハ擔當事務ニ屬スルト否トヲ問ハス事務員互ニ注意シ十分取締ヲ爲スヘシ  
 第十三條 風水震災其他非常異變アルカ又ハ校内若シクハ其近傍ニ於テ出火アルトキハ速ニ昇校シテ上官ノ指揮ニ從フヘシ

附 則

第十四條 本則第四條乃至第十一條及第十三條ハ本校教授助教及轉師ニモ適用ス

第二 當 直

第十五條 本校當直勤務ハ本校書記及事務雇員輪番ヲ以テ一名宛之ニ任ス其順番ハ別ニ之ヲ定ム

第十六條 當直時間ハ左ノ如ク定ム

- 一 平日ハ退校時限ヨリ翌日昇校時限迄トス
- 一 休日ハ晝間昇校時限ヨリ平日ノ退校時限迄ヲ一當直時間トシ夜間ハ退校時限ヨリ翌日昇校時限迄ヲ一當直時間トス但春夏及冬季休業中ノ宿直ハ當日昇校時限ヨリ翌日昇校時限迄トス

第十七條 左ノ諸項ノ一ニ當ルトキハ當直ヲ免ス

- 一 出張ヲ命セラレタル者ハ出張中ハ勿論出張ノ前日及歸校ノ翌日
- 二 病氣其他ノ事故ニヨリ本務ヲ缺クモノハ缺勤届出ノ當日

第十八條 前條ノ事由ニヨリ除直スルモノアルトキハ當直順ハ順次繰上ケトス

第十九條 當直者已ムヲ得サル事故ニヨリ他ノ當直ノ義務アル職員ヲシテ代番セシメントスルトキハ其旨連署ヲ以テ届出ツヘシ

第二十條 當直ノ義務アル職員新任ノ時ハ出校ノ日ヨリ起算シ一週目ノ後當直順番ニ挿入ス此場合ニ於テハ他ノ當直者ノ順番ハ當然順次繰下クルモノトス又轉免者アルトキハ順番ノ繰上ヲナスヘシ

第二十一條 當直勤務ノ主要ナル事項ハ概テ左ノ如シ  
一 聖影奉安室及其他ノ鎖鑰並ニ當直日誌ノ保管ヲナスコト

二 巡視門衛校丁等ヲ監督シ校舍内外一切ノ取締ヲ

爲スコト

三 往復物件ヲ處分スルコト  
四 火器其他火災ノ怖アル器物ニ對シ注意スルコト

第二十二條 當直日誌ニハ左ノ諸件ヲ記載スルヲ要ス

- 一 當直ノ年月日並ニ宿直者ノ氏名捺印
- 二 巡視門衛校丁火夫ノ氏名
- 三 到着若クハ發送セシ物件ノ目錄
- 四 以上諸項ノ外當直中處理シタル事項

第二十三條 當直日誌ハ翌日庶務主任ノ監査ヲ經ヘシ

第二十四條 宿直中接受シタル物件ハ左ノ取扱ヲナスヘシ

- 一 親展公文書並ニ職員宛私交書及其他ノ物件ハ其儘之ヲ留置キ翌日受附係ニ交付シ表記氏名ヲ示

サ、ルモノハ各課主任ニ引渡スヘシ但外見急速ヲ要スルモノト認メ得ヘキモノハ直ニ宛名ノモノ若クハ各課主任ニ送達スヘシ

一 親展ニアラサル公文書ハ直ニ開封シ即時之ヲ處理スヘシ

第二十五條 當直中出火近火ハ勿論風水震災盜難等非常ノ異變アルトキハ直ニ學校長ニ其旨ヲ急報シ狀況ニ應シ直ニ臨機ノ處置ヲナスヘシ

第三 校 丁

第二十六條 校丁ハ執務時限三十分前マテニ昇校シ直ニ出勤簿ニ捺印スヘシ

第二十七條 執務時限終ルト雖モ其日ノ用務ヲ辨了シ且職員退校ノ後ニアラサレハ退出スルコトヲ得ス

第二十八條 病氣等ノ事故ニヨリ出勤シ難キトキハ出勤時限前ニ届出ツヘシ但學校ハ事情ニヨリ相當代人ヲ差出サシムルコトアルヘシ

第二十九條 掃除、使丁ノ役務、茶湯ノ供給、其他ノ雜役ハ校丁勤務ノ重ナルモノトス

前項ノ外職員ノ命令アルトキハ其使役ニ服スヘシ

第三十條 平常擔任ノ掃除區域并ニ掃除時間ハ別ニ之ヲ命ス

第三十一條 校舍各室ノ掃除ハ毎日一回其分擔區域ニ從ヒ一定時ニ之ヲ爲スヘシ

第三十二條 便所ハ毎日一度一定時ニ掃除スヘシ其掃除順序ハ別ニ之ヲ定ム

第三十三條 校丁ハ職員ヨリ招呼セラル、トキハ速ニ其

前ニ出テ命ヲ受ケ誠實ニ處理スヘシ

第三十四條 器物ノ取扱ハ最モ鄭重ニシ破損セサル様別シテ火器ノ取扱ハ危險ナキ特特ニ注意スヘシ

第三十五條 分擔事務ハ勿論其他職員ヨリ特ニ命セラレタル用務ハ速ニ處理スヘシ

第三十六條 校丁ハ用務ノ爲メ止ムヲ得サル場合ノ外其詰所ヲ離ルヘカラス

第三十七條 校丁ハ猥リニ其詰所へ他人ヲ入レ雜談等ヲ爲スヘカラス

第三十八條 接受シタル書類物件ハ速ニ受付掛へ持參若クハ通告スヘシ

第三十九條 校丁ハ職員ノ許可アルニアラサレハ生徒其他ノ者ノ委囑ニ應スヘカラス

第四十條 校丁ハ職員ヨリ用務ヲ命セラレタルトキハ其用務ヲ終リタル後其旨ヲ其職員ニ申告スヘシ他人ヨリ回答等ノアリタルトキハ遲滞ナク本人ニ通告スヘシ

第四十一條 校丁ハ輪番ヲ以テ當直スヘシ其順番ハ命令ヲ以テ定ム

第四十二條 風水害震災等非常ノ異變アルカ又ハ校内若クハ其近傍ニ出火アルトキハ非番ノ者タリトモ速ニ昇校シテ職員ノ指揮ニ從フヘシ

第四十三條 校丁宿直ニ關スル心得ハ別ニ通達スヘシ

第三款 教授會規程

第一條 教授會ハ本校教授ヲ以テ之ヲ組織シ學校長之ヲ召集ス

第二條 教授會ハ學校長ノ諮詢ニ應シ左ノ事項ニ付キ審

議スルモノトス

- 一 學科課程ニ關スル事項
  - 二 授業ニ關スル事項
  - 三 試業ニ關スル事項
  - 四 生徒ノ懲戒ニ關スル事項
  - 五 生徒ノ取締ニ關スル事項
  - 六 生徒寮ニ關スル事項
  - 七 前項ノ外學校長ニ於テ必要ト認メタル事項
- 第三條 必要アル場合ニハ助教教授及囑託講師其他職員ヲシテ教授會ニ列席セシムルコトアルヘシ
- 第四條 教授會ハ毎月第一土曜日ニ之ヲ開ク  
但事宜ニ依リ臨時開會スルコトアルヘシ
- 第四款 擔任教官及級長副級長規程

- 第一條 各學級ニ擔任教官ヲ置ク
  - 第二條 擔任教官ハ教授中ヨリ學校長之ヲ任命ス
  - 第三條 擔任教官ハ在級生徒ヲ統率シ風紀ヲ正シ校規命令ノ實行ヲ期スヘシ
  - 第四條 各級ニ級長一名副級長一名ヲ置ク
  - 第五條 級長副級長ハ生徒ノ互選シタル者各三名ノ中ヨリ學校長之ヲ命ス
  - 第六條 級長及副級長ハ擔任教官ノ命ヲ受ケ學級ノ風紀ニ注意シ教室ノ秩序清潔ヲ保持スヘシ
  - 第七條 級長副級長ノ任期ハ一學年トス
- 第五款 擔任教官掌務規程
- 第一條 擔任教官ハ各學級生徒ノ訓練其他當該學級教務整理ノ責ニ任ス

第二條 擔任教官ノ管掌スヘキ事務ハ概テ左ノ諸項トス

- 一 生徒風儀取締ニ關スル事項
- 一 命令ノ傳達諭告等ニ關スル事項
- 一 生徒學業成績檢定ニ關スル密查事項
- 一 教室內備品整理保存ニ關スル事項
- 一 教室內衛生ニ關スル事項

第三條 擔任教官ハ生徒ノ届書ヲ受ケ審査ノ後之ヲ教務課ニ回附スヘシ

第四條 擔任教官ハ各學期末及學年末ニ於テ教務課ヨリ回附スル學業成績調査簿ニ付キ檢査ヲナシ檢印ノ上主幹ヲ經テ學校長ニ進達スヘシ

第六款 圖書閱覽室規程

第一條 本校文庫內ニ圖書閱覽室ヲ設ク

第二條 圖書閱覽室ハ本校職員生徒ノ備付圖書ヲ閱覽スル所トス

第三條 閱覽室ハ休日ノ外毎日之ヲ開ク

第四條 閱覽室ハ毎日午前八時ニ開キ午後九時ニ閉ツ

第五條 生徒ハ學年ノ始メニ於テ文庫課ヨリ閱覽券ヲ受取ルヘシ

第六條 圖書ヲ借受ケント欲スルモノハ指定ノ證書用紙ニ著者名書名部門番号冊數姓名年月日等ヲ詳記シ閱覽券ト共ニ之ヲ課員ニ渡スヘシ

第七條 閱覽者ハ一時ニ洋書五冊和書十冊以上ヲ借受クルコトヲ得ス

第八條 閱覽室備付ノ圖書ハ凡ヘテ之ヲ室外ニ持出スコトヲ得ス

第九條 借受ケタル圖書ハ他ニ轉貸スルヲ許サス

第十條 借受ケタル圖書ノ閲覧ヲ了リタルトキハ直ニ之ヲ返納シ閲覧券ヲ受取ヘシ

第十一條 閲覧室内ニテハ一切音讀談話等其他喧噪ノ學動ヲナスヘカラス

第十二條 借受ケタル圖書ハ鄭重ニ之ヲ取扱フヘシ若シ汚漬破損若クハ紛失シタルトキハ之ヲ辨償セシム

第十三條 前條ノ規程ニ違反スル者ハ退室ヲ命ス

第七款 生徒寮掌務規程

第一 寮務主任

第一條 寮務主任ハ生徒ヲ集メテ訓戒ヲ加ヘ生徒寮ニ出頭シテ平生ヲ視察スル等常ニ生徒ノ訓育ニ注意シ生徒寮規則第一條及第二條ノ趣旨ニ基キ其實効ヲ舉クル事

ヲ期スヘシ

第二條 寮務主任ノ處理スヘキ主要ナル事項ハ左ノ如シ

一 寮務掛ノ監督

二 生徒ノ訓戒、取締、懲戒ニ關スル件

三 寮務日誌其他重要ナル書類ノ監査

四 生徒ノ集會ニ關スル件

五 生徒ノ體格檢査及體育、情況ノ視察

六 生徒寮備品消耗品ノ保管

七 賄方ニ關スル件

八 校醫ノ監督

九 寮内火災ノ警備

十 寮内一般ノ衛生

第二 寮務掛



第三條 寮務掛ハ上官ノ指揮ヲ受ケ寮務ニ關スル日常ノ事務ヲ取ルヘシ

第四條 寮務掛ノ處理スヘキ主要ナル事項ハ概テ左ノ如シ

- 一 生徒寮ニ屬スル巡視、門衛、寮丁ノ監督
- 二 火災警備衛生ニ關スル注意
- 三 定時人員ノ點檢並ニ在寮生ノ出入ニ關スル監視
- 四 生徒食品ノ監査
- 五 在寮疾病者ノ手當
- 六 生徒寮備品、消耗品ノ整理
- 七 寮務課ニ屬スル主任印及寮印其他所屬書類ノ保管

第五條 實例ナキ事項ハ總テ寮務主任ノ指揮ヲ受ケテ後

處理スヘシ若シ至急處分ヲ要スル事項ニシテ指揮ヲ受クルノ暇ナキ時ハ假ニ處分シ其由ヲ寮務主任ニ申告スヘシ

第六條 經伺ヲ要スル事件ハ寮務主任ヨリ主幹ヲ經テ校長ニ進達スヘシ

第八款 生徒寮細則  
第一條 生徒寮ニハ各室ニ正副二人ノ委員ヲ置キ學校長之ヲ命ズ

第二條 正副委員ハ室内ノ秩序清潔ヲ保持シ兼テ生徒寮ノ風儀ヲ高尚ニスルコトヲ期スヘシ

第三條 在寮生ハ毎朝寮内ヲ掃除シ毎週土曜日大掃除ヲ行フヘシ若シ掃除不十分ト認ムルトキハ臨時之ヲ行ハシム

但机上夜具布團其他所有物ノ整理ハ各自之ヲナスベシ

第四條 晨起就寤喫飯登校沐浴ノ時刻ハ決シテ違フベカラス

第五條 寮内ニ於テハ成ルベク制服ヲ着用スベシ若シ和服ヲ纏フトキハ必ス着袴スベシ

第六條 室内ニ於テ放歌口論雜談遊戲等研修安眠ヲ妨害スル行爲アルベカラス

第七條 室内ニ於テハ一切音讀ヲ禁ス

第八條 在寮生ハ所定ノ場所ニ非レバ集會スルヲ許サズ

第九條 消燈時刻点火スルヲ嚴禁ス

第十條 來訪者ニ對シテハ總テ應接所ニ於テ面會スベシ

第十一條 卑猥ナル稗史小説ヲ閱讀シ又ハ風儀ヲ紊ス虞

アル遊戲ヲ爲スベカラス

第十二條 外出時間ハ午前六時ヨリ午後八時迄トス但シ土曜日大祭日ノ前日ハ午後九時迄トス

第十三條 各室委員ハ其室ノ生徒ニシテ門限時刻ニ及ビテ歸リ來ラザル者ノ姓名ヲ門限後十分迄ニ寮務課へ申出ベシ

第十四條 生徒寮ニ於テ臨時ニ門限点檢ヲ行フ此時ニアリテハ各室生徒ハ必ス其室ニ居リテ寮務課員ノ点檢ヲ待ツベシ

第十五條 外出スルトキハ必ス制服制帽ヲ着用スベシ若シ和服ヲ纏フトキハ制帽ヲ着ケ袴ヲ穿ツヘシ

第十六條 外出時刻ニ遅レテ歸寮セシ者ハ直ニ寮務課ニ出頭シテ其事情ヲ届出テ尙翌日中ニ遅刻ノ事由ヲ詳記

シ保證人連署ヲ以テ寮務主任へ届出ツベシ  
 第十七條 門限迄ニ歸寮シ得サルコトヲ豫知シテ外出スル者ハ其事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ届出ヘシ若シ事急迫ニシテ保證人ノ連署ヲ得ル暇ナキトキハ寮務課ノ允許ヲ得テ外出シ翌日中ニ保證人連署ヲ以テ寮務主任ニ届出ヘシ  
 第十八條 已ムヲ得ザル事故アリテ外泊セントスル者又ハ歸省セントスル者ハ豫メ其理由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ學校長ニ願出ツベシ  
 第十九條 外出中俄ニ外泊スルノ已ムヲ得ザル事故生シ前條ノ手續ヲナスニ違ナキ時ハ當日人員検査時間迄ニ其理由ト居所トヲ寮務課ニ届出デ歸寮ノ際更メテ其理由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ學校長ニ届出ツベシ

第二十條 凡テ在寮生ハ直接ニ賄方へ交渉スベカラズ  
 第二十一條 病氣ノ爲メ特別ノ食物ヲ要スルトキハ校醫ノ診断書ヲ添へ其旨寮務係へ届出ツベシ  
 第二十二條 豫メ届ケ出デ、一日以上欠飯スルニ非サレバ食費ヲ減ゼス  
 第二十三條 食費ノ支拂ヲ遅滞スル者ハ其情狀ニ因リテ懲戒ニ處ス

第九款 在寮生心得細則

第一條 晨起就寤沐浴ノ時刻ハ左ノ如ク定ム  
 晨起 午前六時  
 就寤 午後十時  
 沐浴 午後五時ヨリ八時マテ  
 喫飯時刻ハ左ノ如ク定ム

朝飯 午前六時ヨリ七時迄  
 晝飯 正午ヨリ午後一時迄  
 夕飯 午後五時ヨリ六時迄

第三條 校門開閉時刻左ノ如ク定ム  
 開門 午前五時  
 閉門 午後九時

第四條 人員検査ハ就幕前三十分ニ行フ

第五條 外出ノトキハ豫テ備ヘタル門鑑ヲ門衛ニ渡シ歸寮ノ時ハ之ヲ門衛ヨリ受取り所定ノ場所ニ復スヘシ

第六條 時刻ヲ誤リ喫飯スル事能ハサルモ賄方ヲシテ更ニ調膳セシムルヲ許サス  
 但土曜日及休業日ノ晝飯及夕飯ニ限り定刻後一時間以内ニテハ調膳ヲ求ムルコトヲ得

第七條 食堂外ニ於テハ飲食ヲ禁ス

第八條 寮務掛ノ許可ヲ得スシテ猥リニ小使ヲ使役スヘカラス

第十款 生徒心得細則

本校ノ生徒ハ左ノ諸項ヲ遵守スヘシ

第一條 校内ニ在テハ謹嚴自重ヲ旨トシ決シテ粗暴ノ舉動アルヘカラス

第二條 校外ニ於テモ生徒タル體面ヲ汚ス如キ行爲アルヘカラス

第三條 校ノ内外ヲ問ハス喫煙飲酒ヲナスヘカラス

第四條 病氣親族喪其他已ムヲ得サル事故ノ外猥リニ缺課又遲參スヘカラス

第五條 缺課遲參ノ度數ハ進級ノ許否ニ關係スヘシ

- 第六條 本校生徒ハ學校ノ内外ヲ問ハス職員ニ對シテハ勿論相互ニ脱帽敬禮ヲ爲スヘシ
- 第七條 室内廊下等ヲ問ハス總テ清潔ヲ旨トシ決テ唾液其他不潔物ヲ以テ汚染スヘカラス
- 第八條 校内ニ於テハ指定ノ場所ノ外飲食スヘカラス
- 第九條 如何ナル場所ヲ問ハス嚴ニ樂書ヲナスヘカラス
- 第十條 各教室内ハ勿論控所廊下タリトモ靴ノ外出入スヘカラス
- 第十一條 校ノ内外ヲ問ハス制服制帽ノ外着用ヲ許サス
- 第十二條 授業始メノ号鐘ヲ聞クトキハ直ニ席ニ就キ靜肅ニ教員ノ入場ヲ持ツヘシ
- 第十三條 教室ニ入ラントスルトキハ必ス帽ヲ脱スヘシ
- 第十四條 教員ニ對シテハ授業ノ始メ及終リニ必ス起立

敬禮スヘシ

- 第十五條 教科上必要品其他本校ヨリ指定セル物ノ外一切教室内ニ携帯スヘカラス
- 第十六條 授業中ハ教員ノ許可ナクシテ決シテ外出スヘカラス
- 第十七條 本校生徒タルモノハ舉テ本校所定ノ校友會員トナルヘキ義務アルモノトス

職員姓名

(明治三十六年十二月六日現在)

學校長

從五位 勳六等

理學士 酒井佐保 (高知縣士族)

主幹

從六位教授

理學士 瀨戸虎記 (高知縣士族)

教授

物理學

從六位 理學士 瀨戸虎記 (前出)

英語、論理學、心理學、及倫理

從六位 文學士 岡野義三郎 (大阪府平民)

國語

從六位 文學士 大野木克豊 (石川縣士族)

數學

從六位 理學士 三輪田輪三 (東京府士族)

化學

正七位 理學士 松井元興 (福岡縣士族)

動物及植物學

豫備陸軍歩兵少尉正七位 理學士 大渡忠太郎 (東京府士族)

獨語

正七位 足立謙吉 (東京府平民)

漢文、歴史、

正七位 文學士 滿田新造 (福島縣平民)

獨語

正七位 文學士 丸山環 (滋賀縣平民)

漢文

正七位 文學士 秋月胤繼 (東京府平民)

英語、歴史、

正七位 文學士 内藤馬藏 (岡山縣平民)

獨語

正七位 勳六等 澤井要一 (東京府平民)

英語

正七位 語 正七位ドクトル、オア、フヒロソフヒ (米國) 三宅亥四郎 (廣島縣士族)

英語

正七位 語 パチエラー、オアデアイニテ (米國) (ハーヴァード大學) 廣津友信 (福岡縣士族)

國語

從七位 工學得業士松尾哲太郎 (岡山縣士族)

數學、物理學、

從七位 原榮 (福島縣士族)

獨語

從七位 理學士 伊東茂松 (山形縣士族)

獨語

從七位 蒲原重實 (佐賀縣士族)

獨語

從七位 生田巖太郎 (群馬縣士族)

講師

體操 後備陸軍歩兵大尉從六位勳五等 荻田 瀧 (岡山縣士族)

國語、漢文、 三浦 瀧 (福島縣士族)

獨語 西島慶次郎 (山口縣平民)

英語 大倉本澄 (大阪府平民)

地質、礦物、測量、 工學士 山口義勝 (埼玉縣士族)

法律學、經濟學、 從七位判事法學士 山谷元三郎 (岡山縣平民)

獨語 岡山醫學專門學校教授從五位 醫學士 高橋金一郎 (群馬縣平民)

備外國人教師

英語、羅旬語、 エドワード、ガントレット (英國人)

獨語、羅旬語、 クレメンズ、シャルシニット (獨國人)

獨語、羅旬語、 ハンス、ザウテル (獨國人)

囑托教員

體操科授業囑托 勳八等 木山覺治 (岡山縣平民)

體操科授業囑托 勳八等 那須宗八 (岡山縣士族)

體操科授業囑托 勳八等 小林長二郎 (岡山縣平民)

生物學授業補助囑托 平松慶太 (岡山縣平民)

畫學、測量科授業補助囑托 甲斐從一 (廣島縣平民)

物理學授業補助囑托 豫備陸軍歩兵少尉 正八位 天野瓊太郎 (岡山縣平民)

化學授業補助囑托 安田辰造 (岡山縣平民)

書記

從七位 岡崎義元 (東京府士族)

小野磯次郎 (岡山縣平民)

森川猪次郎 (愛媛縣士族)

河合堯永 (岡山縣士族)

小山金吾 (岡山縣平民)

角南惠三郎 (岡山縣平民)

雇員

谷 杣 治 (岡山縣 土族)

板野 猪 三 次 (岡山縣 平民)

森 幸 太 (岡山縣 平民)

三 町 弘 (島根縣 平民)

學校醫

(休 職)

教 授

正七位 松 田 承 久 (大坂府 土族)

○教務分担  
担任教官

一部一年甲之組

教授 丸 山 環

一部一年乙之組

全 秋 月 胤 繼

二部一年甲之組

全 足 立 謙 吉

二部一年乙之組

全 三 輪 田 輪 三

三部一年之組

全 原 榮

一部二年甲之組

全 滿 田 新 造

一部二年乙之組

全 內 藤 馬 藏

二部二年甲之組

全 蒲 原 重 實

二部二年乙之組

全 伊 東 茂 松

三部二年之組

全 大 渡 忠 太 郎

一部三年甲之組

全 大 野 木 克 豊



一部三年乙之組  
 二部三年之組  
 三部三年之組

全 岡野義三郎  
 全 松尾哲太郎  
 全 松井元興

學科主任

國語	教授	大野木克豊
漢文	全	秋月胤繼
歴史	全	満田新造
英語及羅旬語	全	三宅亥四郎
獨語法律及經濟學	全	澤井要一
倫理、論理及心理學	全	岡野義三郎
數學	全	三輪田輪三
物理及力學	全	瀬戸虎記
動物及植物	全	大渡忠太郎
化學、地質及鑛物	全	松井元興
書學及測量	全	松尾哲太郎
体操	講師	萩田瀧



○卒業生姓名

大學豫科第一回卒業生 (明治三十六年六月三十日卒業)

一部甲

進入大學	志望學科	族籍	姓名
東京	政治科	愛知縣平民	清水益太郎
全	英文學科	兵庫縣平民	長澤一夫
全	哲學科	岡山縣平民	妹尾盛親
全	漢文學科	愛媛縣平民	加地歌三郎
全	政治科	岡山縣平民	吉田貞一
京都	英法律科	兵庫縣平民	天宅敬吉
東京	哲學科	岐阜縣平民	成瀬澄三郎
全	史學科	福岡縣平民	大原保
全		愛媛縣士族	告森喬

東京	政治科	廣島縣平民	山下三郎
全	英文學科	東京府士族	小林愛雄
全	哲學科	岡山縣平民	青木彌一
全	政治科	岡山縣平民	山口巍

一部乙

東京	獨法律	兵庫縣士族	山本一作
京都	全	大阪府平民	田中薰
全		大阪府平民	岸本良和

二部甲

京都	機械學工科	福岡縣平民	小野鑑正
東京	全	兵庫縣士族	岡崎幸人



全	全	全	全	京	全	全	東	京	東	京	全	東
				都			京	都	京	都		京
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
岐	大	愛	山	大	岐	愛	靜	廣	茨	大	三	岡
阜	阪	知	梨	阪	阜	知	岡	島	城	阪	重	山
縣	府	縣	縣	府	縣	縣	縣	縣	縣	府	縣	縣
士	平	平	平	士	平	平	平	平	平	平	平	平
族	民	民	民	族	民	民	民	民	民	民	民	民
大	竹	野	原	好	早	佐	齊	吉	井	笠	岩	多
橋	內	村	藤	本	野	久	藤	永	上	原	野	胡
代	伊	不	孝	節	龍	間	和	福	善	道	誠	雄
次	三	回	一		三	泰	策	太	吉	夫	一	
						治		郎				

全	全	全	全	全	全	福
						岡
全	全	全	全	全	全	全
岡	香	大	京	兵	靜	和
山	川	阪	都	庫	岡	歌
縣	縣	府	府	縣	縣	山
士	平	平	平	平	平	縣
族	民	民	民	民	民	平
						民
加	鶴	森	鹽	角	蜂	辻
藤	身		見	田	須	野
尚	藤	小	長	弘	賀	
義	太	一	衛	之	誠	保
					二	

○生徒姓名

壹部壹年甲

(明治三十六年十二月一日調)

姓名	族籍	生年 月	出身中學
關谷善一	東京府平民	明治十二年四月	茨木中學
森田司樓	廣島縣平民	全 十四年九月	廣島中學
石田鐵雄	廣島縣平民	全 十一年十二月	忠海中學
西光寺義燈	愛知縣平民	全 十三年五月	錦城中學
早川徳次	山梨縣平民	全 十四年十二月	山梨縣第一中學
神崎要	佐賀縣士族	全 十五年二月	佐賀中學
多田敬二	廣島縣平民	全 十五年八月	岸和田中學
河本脩三	兵庫縣平民	全 十七年七月	豊岡中學
寺本富次	岡山縣士族	全 十七年十一月	岡山中學

齋藤文質	岡山縣平民	明治十六年十月	岡山中學
諏訪頼長	三重縣士族	全 十九年一月	東京高等師範附屬中學
萩原四郎平	静岡縣平民	全 十七年八月	静岡中學
丸尾俊彦	岡山縣士族	全 十七年六月	東京高等師範附屬中學
中根倫	廣島縣士族	全 十六年三月	日本中學
津田弘正	岡山縣士族	全 十七年四月	岡山中學
伊達四雄	和歌山縣平民	全 十九年一月	京北中學
宮西甚兵衛	香川縣平民	全 十七年八月	九龜中學
栗林宇一	秋田縣平民	全 十五年四月	京華中學
次田潤	岡山縣士族	全 十七年四月	岡山中學
長谷川巖	静岡縣平民	全 十八年一月	濱松中學
中島正夫	神奈川縣平民	全 十七年六月	東京府第一中學
高橋禎二	東京府平民	全 十六年九月	開成中學

飯田喜藏	東京府平民	明治十六年八月	順天中學
九鬼三郎	京都府華族	全 十八年五月	東京高等師範附屬中學
坂部武三郎	千葉縣平民	全 十六年一月	神田中學
向島了謙	福井縣平民	全 十六年八月	小濱中學
小松清吉	群馬縣平民	全 十八年六月	前橋中學
朝倉金治	岡山縣士族	全 十六年七月	岡山中學
三好權次郎	愛媛縣平民	全 十六年八月	松山中學
廣瀬久間	岐阜縣平民	全 十六年十月	岡山中學
豊田著壽	香川縣平民	全 十五年九月	丸龜中學
岩永新太郎	佐賀縣士族	全 十七年一月	佐賀縣第二中學
太田藤兵衛	群馬縣平民	全 十五年十一月	太田中學
龜山保夫	岡山縣平民	全 十五年七月	岡山中學
藤田福太郎	愛媛縣平民	全 十六年七月	松山中學

細川兵一	廣島縣平民	明治十七年一月	三次中學
齋藤哲四郎	山形縣平民	全 十七年九月	庄內中學
河村嘉一郎	佐賀縣士族	全 十八年八月	唐津中學
壹部壹年乙			
武田精一	廣島縣平民	明治十四年三月	日比谷中學
岩崎 巍	福岡縣士族	全 十五年八月	脩猷館
藤堂景吉	東京府士族	全 十六年六月	錦城中學
高原多喜太	大阪府士族	全 十七年十二月	京都府第一中學
楠 示 玄	愛知縣平民	全 十四年七月	順天中學
香西俊雄	岡山縣平民	全 十七年六月	岡山中學
內藤憲吉	岡山縣平民	全 十六年九月	全
宇野武男	岡山縣平民	全 十五年六月	全

室晉造	稻山常勝	浦野義隆	寺尾秀堯	瀧川秀雄	池田敬勝	小林一九郎	水野鷗之助	榎本安盛	吉田次郎	三田村富彌	澤井元善	黑田幹一
岡山縣平民	東京府平民	大阪府平民	鳥取縣士族	大分縣士族	廣島縣平民	岡山縣平民	大阪府平民	和歌山縣平民	神奈川縣士族	岩手縣士族	熊本縣士族	岡山縣平民
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
十五年十一月	十七年二月	十六年七月	十八年十二月	十八年四月	十九年五月	十六年五月	十八年一月	十五年八月	十七年九月	十七年十二月	十七年六月	明治十五年十二月
高粱中學	商工中學	天王寺中學	京華中學	栃木中學	日彰館中學	津山中學	天王寺中學	田邊中學	神奈川縣第一中學	明治義會	早稻田中學	關西中學

岩城平之助	北島武治	辻敬三	根本大助	赤松宗琳	長井喜太夫	田口易之	太田吾一	岡田茂登次郎	渡邊充郎	岸本銳次郎	吉田真策	眞野濟藏
富山縣平民	東京府士族	東京府平民	茨城縣平民	德島縣平民	長野縣平民	岡山縣平民	靜岡縣平民	岡山縣士族	栃木縣平民	岡山縣平民	廣島縣平民	和歌山縣平民
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
十六年七月	十八年三月	十六年二月	十四年十月	十七年六月	十六年七月	十六年二月	十八年七月	十六年九月	十六年四月	十六年一月	十六年一月	明治十六年七年
高岡中學	京北中學	順天中學	京華中學	順天中學	松本中學	津山中學	濱松中學	岡山中學	栃文館	岡山中學	日彰館中學	和歌山縣第一中學



杉山茂	岡山縣平民	明治十六年九月	津山中學
杉野繁	東京府士族	全 十八年十月	立教中學
灘波良藏	香川縣平民	全 十六年十一月	高松中學
高橋忠雄	和歌山縣平民	全 十八年十一月	五條中學
仲榮壽	埼玉縣平民	全 十四年三月	麻布中學
伊藤祐啓	鳥取縣平民	全 十八年二月	鳥取縣第一中學
貳部壹年甲			
若森久幹	埼玉縣士族	明治十三年四月	早稻田中學
森鼻彦次	兵庫縣平民	全 十三年十一月	神戸中學
宇都宮清綱	廣島縣平民	全 十四年五月	神戸中學
樽松宇平治	靜岡縣平民	全 十五年一月	靜岡中學
江田秀太郎	岡山縣平民	全 十七年十一月	青森縣第一中學

米樹健治郎	新瀉縣平民	明治十九年一月	高田中學
木島武衛	千葉縣平民	全 十五年十二月	城北中學
深見俊三郎	愛知縣平民	全 十七年十月	愛知縣第二中學
內田嘉吉	岡山縣平民	全 十七年三月	岡山中學
高橋順一	廣島縣平民	全 十八年一月	忠海中學
櫻井重助	愛知縣平民	全 十一年十二月	愛知縣第一中學
眞野正雄	東京府士族	全 十六年三月	東京府第一中學
衣非圭藏	福岡縣士族	全 十六年七月	攻玉社中學
門田傳三	廣島縣平民	全 十五年二月	廣島中學
高木毅	青森縣士族	全 十八年二月	靜岡中學
馬場兼夫	香川縣平民	全 十八年十一月	丸龜中學
小野安五郎	岡山縣平民	全 十六年六月	高梁中學
藥師寺主計	岡山縣平民	全 十七年十月	岡山中學

藤岡郊二	岡山縣平民	明治十七年二月	高粱中學
中村皎	滋賀縣平民	全 十七年四月	滋賀縣第二中學
守屋五八	岡山縣平民	全 十五年五月	京華中學
安井辰衛	岡山縣平民	全 十七年三月	岡山中學
三谷五郎	廣島縣平民	全 十六年三月	錦城中學
長山邑陸	愛媛縣士族	全 十七年八月	松山中學
奧田讓	東京府平民	全 十六年九月	開成中學
小西龜太郎	東京府士族	全 十八年三月	京都府第一中學
西垣晋作	奈良縣平民	全 十九年四月	五條中學
青山操	廣島縣平民	全 十二年十一月	日本中學
田代信嗣	東京府平民	全 十五年二月	城北中學

貳部壹年乙

葛城光晴	岡山縣士族	明治十五年七月	岡山中學
橋本寬三	東京府平民	全 十七年九月	開成中學
湯淺新平	岡山縣平民	全 十四年九月	神田中學
門田信一	德島縣士族	全 十七年十一月	德島中學
潮藏	島根縣平民	全 十九年六月	島根縣第二中學
鈴川貫一	廣島縣平民	全 十六年十二月	廣島縣廣嶋中學
荒木文四郎	岡山縣平民	全 十五年六月	岡山中學
田中宏三	佐賀縣士族	全 十四年七月	麻布中學
明石三二	岡山縣平民	全 十八年二月	關西中學
鈴木順三	大阪府平民	全 十八年二月	東京府第四中學
岸本千代吉	岡山縣士族	全 十七年九月	岡山中學
北島義麿	佐賀縣士族	全 十五年十二月	佐賀縣第三中學
石澤澄	長野縣士族	全 十八年八月	東京府第四中學

太田宏一	愛知縣士族	明治十五年十一月	愛知縣第一中學
中村誠	東京府平民	全 十九年三月	開成中學
前田貫三郎	東京府平民	全 十六年三月	攻玉社中學
竹波喜久治	岡山縣平民	全 十七年四月	岡山中學
小山義彦	岡山縣平民	全 十六年十月	高粱中學
法貴忠吉	京都府平民	全 十七年三月	京都府第一中學
津川掌事	廣嶋縣士族	全 十八年十一月	福山中學
横屋潤	岡山縣士族	全 十七年八月	高粱中學
長尾吉五郎	香川縣平民	全 十五年六月	九龜中學
奧澤雅四郎	茨城縣平民	全 十六年三月	神田中學
樫田茂一	兵庫縣平民	全 十七年二月	洲本中學
關莊一郎	福嶋縣平民	全 十六年十二月	會津中學
堀口由巳	岐阜縣平民	全 十八年九月	岐阜中學

關口雷三	石川縣士族	明治十七年六月	石川縣第一中學
芝池真吉	大阪府平民	全 十八年十月	堺中 學
熊谷薰次郎	廣嶋縣平民	全 十七年十月	廣嶋中學
志賀潔	東京府平民	全 十七年十一月	韭山中學
藤田邦次郎	岡山縣平民	全 十六年三月	岡山中學

參部壹年

小宮山正義	山梨縣平民	明治十三年十二月	山梨中學
小川門一	岐阜縣平民	全 十五年三月	岐阜中學
松下字太郎	德嶋縣平民	全 十四年十一月	德嶋中學
松本信仔	和歌山縣平民	全 十二年三月	和歌山中學
加用信憲	高知縣士族	全 十七年一月	高知縣第一中學
森川修吾	和歌山縣平民	全 十八年四月	和歌山中學

長谷川大藏	小寺彌彦	石田訓造	宮部昇	佐藤秀太郎	大河原一太郎	宮川米次	田口章信	安達太作	山田静榮	渡邊英一	藤本理市	松本喜代美
和歌山縣平民	宮崎縣士族	廣嶋縣平民	東京府士族	長野縣平民	群馬縣平民	愛知縣平民	岡山縣平民	新瀉縣平民	香川縣平民	靜岡縣平民	德嶋縣平民	岡山縣平民
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
十五年五月	十八年六月	十八年一月	十八年一月	十六年四月	十五年一月	十八年二月	十七年二月	十八年七月	十九年六月	十五年九月	十八年三月	明治十七年四月
和歌山中學	東京府立第一中學	明治義會	高等師範附屬中學	明治義會	前橋中學	愛知縣第四中學	津山中學	長岡中學	明治義會	東京中學	脇町中學	日本中學

岩谷高明	清水顯	金尾静衛	三戸雄輔	最山次万	吉馴信安	志熊二郎	酒井繁	帶包定	青木庄平	蛇目將監	杉山元之助	丸田政之助
秋田縣平民	兵庫縣平民	廣嶋縣平民	廣嶋縣士族	岡山縣平民	香川縣平民	廣嶋縣平民	東京府平民	香川縣平民	岐阜縣平民	兵庫縣平民	長野縣平民	秋田縣平民
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
十七年十二月	十六年二月	十七年三月	十八年六月	十六年七月	十七年一月	十八年十二月	十八年二月	十八年五月	十七年二月	十九年五月	十六年十二月	明治十六年九月
秋田中學	洲本中學	福山中學	廣嶋中學	岡山中學	九龜中學	廣嶋中學	開成中學	九龜中學	岐阜中學	開成中學	大成中學	秋田中學

酒井岩太郎	福田丈夫	山田兼三郎	郡司修	笠原精一	結城善平	繼邊九左衛門	藤井從橘	問田亮次	腹卷勘六
佐賀縣士族	山口縣平民	香川縣平民	茨城縣士族	埼玉縣平民	德嶋縣士族	岡山縣平民	岡山縣士族	佐賀縣士族	佐賀縣士族
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
十二年九月	明治十五年三月	十七年三月	十四年七月	十四年三月	十八年三月	十六年一月	十七年十月	十六年四月	明治十五年八月
日本中學	順天中學	山口中學	高松中學	開成中學	埼玉縣第二中學	脇町中學	關西中學	岡山中學	佐賀縣第一中學

壹部貳年甲

長谷川志賀二	橋本增吉	橋本虎次郎	清水秀	杉琢磨	松原權四郎	辻盛	次田七五三五郎	千輪美雄	田中彰治	生田廣藏	角南美貴	松岡誠一
岡山縣平民	長崎縣士族	廣嶋縣士族	岡山縣士族	岡山縣平民	香川縣平民	東京府平民	岡山縣平民	岡山縣平民	京都府平民	鳥取縣平民	岡山縣平民	廣嶋縣平民
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
十五年二月	十三年六月	十六年十月	十六年二月	十五年十二月	十六年九月	十六年十月	十六年三月	十六年十月	十四年五月	十三年八月	十二年八月	明治十三年三月
關西中學	明治義會	順天中學	高梁中學	日本中學	丸龜中學	開成中學	關西中學	岡山中學	郁文館	鳥取縣第一中學	岡山中學	廣嶋縣第二中學

神社柳吉	岡山縣平民	明治十四年七月	高粱中學
今井田清德	岡山縣士族	全 十七年二月	關西中學
杉山盈	東京府平民	全 十一年十二月	東京高等師範附屬中學
上野清六	新瀉縣平民	全 十六年六月	東京中學
森信吉郎	廣嶋縣平民	全 十三年七月	廣嶋縣第二中學
國枝武	岐阜縣平民	全 十二年九月	錦城中學
安藤一郎	東京府平民	全 十七年六月	東京高等師範附屬中學
甲斐勇男	岡山縣士族	全 十六年十二月	津山中學
齊藤秀三郎	兵庫縣平民	全 十四年四月	鳳鳴義塾
三浦虎雄	宮崎縣士族	全 十六年五月	修猷館
塚田芳太郎	東京府平民	全 十五年十二月	開成中學
山岡剛	岡山縣士族	全 十四年八月	高粱中學
大橋信吉	岡山縣平民	全 十六年二月	岡山中學

山田五郎	福井縣平民	明治十七年八月	東京高等師範附屬中學
尾崎庄兵衛	長野縣平民	全 十五年八月	長野中學
岡本立彦	岡山縣士族	全 十五年八月	岡山中學
吉岡秀樹	東京府平民	全 十三年二月	神田中學
城榮太郎	兵庫縣平民	全 十六年十二月	神戶中學
三井芳太郎	宮崎縣士族	全 十五年九月	麻布中學
服部品吉	岡山縣平民	全 十一年二月	岡山中學
畔見又四郎	群馬縣平民	全 十四年五月	明治義會
和田喜義	高知縣士族	全 十三年七月	高知縣第一中學

壹部貳年乙

三原梓	德嶋縣平民	明治十四年十二月	高松中學
伍賀喜太郎	岡山縣平民	全 十三年十月	關西中學

森田恪藏	廣嶋縣平民	明治十六年一月	廣嶋縣第一中學
今井令吉	岐阜縣平民	全 十五年七月	大垣中學
犬塚虞良人	福岡縣士族	全 十五年八月	豊津中學
常松茂助	山口縣士族	全 十二年四月	山口中學
國吉真徳	沖繩縣士族	全 十三年十二月	沖繩中學
和田峻	和歌山縣平民	全 十五年二月	正則中學
大江清太郎	岡山縣平民	全 十七年十月	東京府第一中學
小橋信義	岡山縣平民	全 十六年九月	岡山中學
岡村芳太郎	愛媛縣士族	全 十六年九月	靜岡中學
谷川浩	東京府士族	全 十七年六月	東京府第一中學
高橋三郎	東京府士族	全 十六年七月	開成中學
岩崎信一	京都府士族	全 十四年六月	茨木中學
西村禎一郎	岡山縣平民	全 十四年八月	高梁中學

小嶋徳一	廣嶋縣士族	明治十二年十月	廣嶋縣第二中學
三澤源三郎	栃木縣平民	全 十六年一月	錦城中學
今井龜三郎	群馬縣平民	全 十五年十月	高崎中學
安達房治郎	愛知縣平民	全 十七年八月	郁文館
山口五三	岡山縣平民	全 十六年二月	津山中學
岩村通世	東京府華族	全 十六年八月	高知縣第一中學
下阪廣世	静岡縣士族	全 十七年三月	静岡中學
細野長良	東京府士族	全 十六年一月	富山中學
名越素行	廣嶋縣平民	全 十三年十二月	廣嶋縣第一中學
日高明	宮崎縣平民	全 十四年二月	郁文館
河鱒節	岡山縣士族	全 十六年七月	津山中學
岡田勇次郎	京都府平民	全 十五年三月	京都府第一中學
松田幾三郎	德嶋縣平民	全 十五年十二月	德嶋中學

原田寅三郎	佐賀縣平民	明治十二年九月	日比谷中學
廣嶋縣平民	廣嶋縣平民	明治十五年十月	千葉中學
岡山縣平民	香川縣平民	明治十三年七月	九龜中學
秋田縣平民	岡山縣平民	明治十三年二月	岡山中學
岡山縣士族	秋田縣平民	明治十六年二月	秋田中學
東京府平民	岡山縣士族	明治十六年十月	岡山中學
廣嶋縣平民	東京府平民	明治十七年八月	東京高等師範附屬中學
京都府平民	廣嶋縣平民	明治十三年九月	福山中學
岐阜縣平民	京都府平民	明治十四年六月	郁文館
千葉縣平民	岐阜縣平民	明治十五年二月	大垣中學
	千葉縣平民	明治十五年七月	城北中學

貳部貳年甲

田阪正樹	廣嶋縣平民	明治十二年八月	廣嶋縣第一中學
野田清一郎	岡山縣平民	全 十六年十月	岡山中學
宮崎虎一	香川縣平民	全 十七年九月	丸龜中學
木村哲二	岡山縣平民	全 十七年十二月	岡山中學
古橋柳太郎	東京府平民	全 十五年十二月	麻布中學
鈴木二郎	茨城縣士族	全 十七年十一月	佐倉中學
柳本直人	京都府士族	全 十五年五月	愛知縣第一中學
見田了應	愛知縣平民	全 十六年九月	全
齋藤實理	兵庫縣士族	全 十六年八月	神戶中學
竹內秀雄	愛媛縣士族	全 十五年六月	松山中學
秋田久	廣嶋縣士族	全 十七年十一月	唐津中學
柳下亮一	靜岡縣平民	全 十六年八月	開成中學
樋口千五郎	新潟縣平民	全 十五年十一月	新潟中學



川井 一	岐阜縣士族	明治十七年八月	大垣中學
手嶋 潮	大分縣士族	全 十四年三月	中津中學
大瀧照太郎	岡山縣平民	全 十二年十月	關西中學
近藤英八	岡山縣平民	全 十三年十一月	岡山中學
田川謙吉	北海道廳士族	全 十六年十月	天王寺中學
岡崎重德	高知縣士族	全 十四年四月	海南學校
米津政賢	東京府華族	全 十六年三月	學習院
上春興治	愛知縣士族	全 十三年六月	愛知縣第一中學
田中作次郎	京都府士族	全 十五年四月	豐岡中學
貳部貳年乙			
渡邊 中	長野縣士族	明治十四年十二月	東京中學
山川 洵	東京府平民	全 十六年二月	東京高等師範附屬中學

藤田 豐	奈良縣士族	明治十五年一月	廣嶋縣第一中學
肥爪美貞	兵庫縣平民	全 十六年四月	茨木中學
桑田義備	大阪府平民	全 十五年十月	茨木中學
近藤萬太郎	岡山縣平民	全 十六年九月	岡山中學
小室靜夫	東京府士族	全 十六年十一月	開成中學
勝本永二郎	香川縣士族	全 十四年八月	高松中學
田中 實	東京府士族	全 十八年三月	東京府第四中學
若林信明	鳥取縣士族	全 十五年五月	鳥取縣第一中學
玉村滋雄	福井縣士族	全 十六年十一月	福井中學
林 勝二	福嶋縣士族	全 十五年二月	會津中學
垣内捨楠	和歌山縣士族	全 十三年三月	和歌山縣第一中學
難波元弘	岡山縣平民	全 十六年一月	岡山中學
兒玉定次	愛知縣平民	全 十六年九月	愛知縣第一中學

中山明親	高知縣士族	明治十三年十月	高知縣第一中學
日野富三郎	愛媛縣平民	全 十六年四月	松山中學
山岡元利	北海道廳士族	全 十五年三月	水戶中學
大曲實形	長崎縣士族	全 十三年九月	錦城中學
時尾武一	岡山縣平民	全 十四年三月	岡山中學
井手庄三	佐賀縣士族	全 十二年六月	明治義會
小倉雅五郎	千葉縣平民	全 十一年九月	千葉中學
三輪田季胤	東京府士族	全 十八年十月	商工中學
參部貳年			
池田誠一	大阪府平民	明治十六年三月	堂嶋中學
礪原初太郎	神奈川縣平民	全 十五年十月	早稻田中學
酒勾龍助	鹿兒嶋縣平民	全 十一年九月	鹿兒嶋縣第一中學

鈴木賴衛	岡山縣平民	明治十四年十二月	岡山中學
小西泰藏	靜岡縣平民	全 十二年十二月	神田中學
伊藤正雄	廣嶋縣平民	全 十四年九月	廣嶋中學
安藤春雄	岐阜縣士族	全 十六年三月	岐阜中學
梶谷齊	岡山縣平民	全 十六年一月	岡山中學
太田一也	岡山縣士族	全 十五年一月	全
市川方義	山梨縣士族	全 十五年十月	山梨中學
春藤薰	岡山縣平民	全 十五年十月	岡山中學
清野謙次	靜岡縣平民	全 十八年八月	北野中學
近藤見長	岡山縣士族	全 十七年十月	岡山中學
野村巖	大阪府平民	全 十七年三月	天王寺中學
松山陸郎	東京府平民	全 十七年十二月	正則中學
靜藤茂六	靜岡縣平民	全 十六年一月	濱松中學

赤枝守一	岡山縣平民	明治十三年十一月	高松中學
原田役三郎	岡山縣平民	全 十三年四月	岡山中學
香川傳	香川縣平民	全 十七年三月	高松中學
望月章	茨城縣士族	全 十四年一月	東京府第四中學
鈴木慎吾	茨城縣平民	全 十五年十二月	錦城中學
森彌三郎	香川縣平民	全 十七年四月	高松中學
野川彬	岐阜縣平民	全 十六年十一月	千葉中學
內田一二	廣嶋縣士族	全 十七年四月	福山中學
河野建輔	千葉縣平民	全 十五年九月	千葉中學
比留間茂十郎	東京府平民	全 九年十一月	開成中學
渡邊八十次	新潟縣平民	全 十五年十月	新潟中學
小池寬	嶋根縣平民	全 十五年六月	嶋根縣第一中學
平野一簀	愛知縣平民	全 十七年七月	愛知縣第一中學

安倉鋼助	新潟縣士族	明治十四年十二月	新潟中學
小津孟	岡山縣士族	全 十六年十一月	岡山中學
浦上利雄	栃木縣士族	全 十四年八月	日本中學
入野賢二	愛知縣平民	全 十五年七月	麻布中學
木村又八	香川縣平民	全 十三年九月	高松中學
鈴木榮次郎	靜岡縣平民	全 十一年四月	神田中學
壹部參年甲			
橫田誠一郎	岡山縣平民	明治十四年九月	高梁中學
柿原政一郎	宮崎縣士族	全 十六年五月	宮崎中學
相原熊太郎	愛媛縣平民	全 十六年四月	松山中學
松本卓爾	岡山縣平民	全 十五年三月	岡山中學
藤田積造	佐賀縣平民	全 十二年八月	大藏中學

加計正文	廣嶋縣平民	明治十四年二月	關西中學
森本豐次郎	兵庫縣平民	全十五年七月	豐岡中學
浦瀬七太郎	長崎縣士族	全十三年七月	長崎中學
關屋政德	嶋根縣士族	全十六年三月	鳥取縣第一中學
金万庸次	岡山縣士族	全十五年六月	岡山中學
戶尾龜太郎	奈良縣平民	全十六年一月	郡山中學
戶部十二郎	岡山縣平民	全十三年二月	岡山中學
石井林藏	岡山縣平民	全十一年五月	關西中學
芝口鏡一	靜岡縣平民	全十七年三月	靜岡中學
高橋文五郎	岡山縣平民	全十五年七月	金光中學
重田幸吉	德嶋縣平民	全十三年五月	德嶋中學
山田一	愛知縣平民	全十四年八月	大垣中學
日笠祐一郎	岡山縣平民	全十五年四月	岡山中學

原田德三郎	岡山縣平民	明治十三年六月	高粱中學
柳原達	大阪府平民	全十五年四月	堺中學
中院富壽	京都府華族	全十二年七月	同志社
壹部參年乙			
築嶋信司	廣嶋縣平民	明治十五年六月	廣嶋縣第一中學
山本芳治	兵庫縣平民	全十四年九月	姫路中學
伊藤直三郎	愛媛縣平民	全十三年八月	松山中學
千葉誠一	福嶋縣士族	全十六年二月	麻布中學
大河内又太郎	和歌山縣平民	全十四年七月	全
今福新一	廣嶋縣士族	全十七年三月	廣嶋縣第一中學
中上友三郎	福岡縣士族	全十四年二月	修猷館
望月政友	和歌山縣平民	全十七年六月	五條中學

三好信二	香川縣平民	明治十五年七月	高松中學
川村龍雄	長野縣士族	全十四年三月	大成中學
木村得多	香川縣平民	全十四年一月	高松中學
大里與謝郎	福岡縣士族	全十一年十二月	津山中學
瀨尾武治郎	廣嶋縣士族	全十五年十一月	廣嶋縣第二中學
藤田成治	愛媛縣士族	全十五年六月	長野中學
板野孝一	兵庫縣平民	全十四年七月	姫路中學
清水稼太郎	岡山縣平民	全十四年五月	高梁中學
關口親	岐阜縣士族	全十四年三月	大垣中學
西村甫太郎	宮崎縣平民	全十四年八月	宮崎中學
春日主稅	福井縣平民	全十二年十月	福井中學
小笠原顯	大阪府平民	全十五年三月	堂嶋中學
金井四郎	群馬縣平民	全十一年二月	山口高等學校轉學

伊藤辰次郎	京都府平民	明治十三年八月	京都府第一中學
高崎秀雄	鹿兒嶋縣平民	全十四年十月	茨城中學
横田虎之助	岡山縣平民	全十二年十二月	高梁中學
貳部參年			
安井直衛	廣嶋縣士族	明治十四年十一月	廣嶋縣第一中學
安川昇一	千葉縣平民	全十三年十一月	開成中學
上月清二郎	岡山縣士族	全十三年五月	岡山中學
那須賴太郎	岡山縣平民	全十六年四月	全
大口章治	岡山縣士族	全十六年五月	全
石井格一	岡山縣士族	全十五年十一月	全
遠藤三武郎	岡山縣平民	全十三年五月	廣嶋縣第二中學
三宅幹次	岡山縣平民	全十四年十二月	岡山中學

山田靜	別所泰	西川清次	安田靖一	橋本恂四郎	鍵和田悌治	中井義雄	高田郁三	西松唯一	合田松太郎	數田春魚	玉嶋光三	長瀬連太郎
岐阜縣平民	岡山縣士族	兵庫縣平民	兵庫縣平民	岡山縣平民	神奈川縣平民	和歌山縣士族	大阪府平民	愛媛縣平民	兵庫縣平民	岡山縣平民	廣嶋縣士族	岡山縣平民
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
十四年六月	十六年二月	十四年六月	十年七月	十六年九月	十四年三月	十六年六月	十二年一月	十四年五月	十六年十月	十五年十一月	十六年十月	明治十五年五月
大垣中學	岡山中學	全	姫路中學	津山中學	錦城中學	和歌山縣第一中學	天王寺中學	松山中學	神戶中學	岡山中學	靜岡縣中學明善館	岡山中學

百七十二

奈良原三次	小山三郎	貴嶋圭三	三野熊雄	青山綱成	川村号	三木達治	山田彰	綾田豐	穗積善三郎	齋藤貞一	清水惠助	中村正義
鹿兒嶋縣士族	東京府士族	大阪府平民	香川縣士族	愛知縣士族	愛知縣士族	廣嶋縣平民	福井縣平民	香川縣平民	愛知縣平民	廣嶋縣士族	岡山縣平民	岡山縣士族
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
十年二月	十一年十月	十六年九月	十四年八月	十五年十月	十六年二月	十五年九月	十四年一月	十五年九月	十二年七月	十一年三月	十五年一月	明治十四年十二月
東京中學	開成中學	天王寺中學	九龜中學	全	愛知縣第一中學	高梁中學	高等師範附屬中學	高等高松中學	東京府中學	高松中學	高梁中學	岡山中學

百七十三

木村專之助 田井善道	愛媛縣平民 神奈川縣士族	明治十三年三月 全 十三年三月	松山中學 開成中學
參部參年			
三橋玉見 赤松得二郎 小泉親彦 田嶋鹿雄 福田康甫 平田達次郎 田中文男 馬淵亨三郎 加藤博之	愛媛縣平民 岡山縣平民 福井縣士族 高知縣士族 山口縣士族 岡山縣平民 兵庫縣平民 靜岡縣士族 愛知縣平民	明治十五年十一月 全 十五年一月 全 十七年九月 全 十五年七月 全 十四年一月 全 十二年十二月 全 十六年五月 全 十六年四月 全 十六年六月	高知縣第一中學 岡山中學 開成中學 高知縣第一中學 京北中學 岡山中學 天王寺中學 濱松中學 愛知縣第一中學

有馬昇平 土井留之助 村上進 深澤精四 篠原牧之助 水河序平 石川芳治 高木謙三 西幹敏平 馬場殿 佐野良太郎 岩本護 片山泰吉	鹿兒嶋縣士族 愛知縣平民 岐阜縣平民 兵庫縣平民 兵庫縣平民 岡山縣平民 大阪府平民 大阪府平民 大阪府平民 岡山縣士族 秋田縣平民 岡山縣平民 廣嶋縣平民	明治十四年五月 全 十四年八月 全 十六年五月 全 十五年六月 全 十二年五月 全 十四年二月 全 十六年二月 全 十五年九月 全 十六年三月 全 十四年二月 全 十五年五月 全 十四年十二月 全 十五年三月	造士館 愛知縣第一中學 大阪府第一中學 岡山中學 錦城中學 岡山中學 八尾中學 大阪府第一中學 大阪府第二中學 津山中學 日本中學 津山中學 廣嶋縣第二中學
--	--	--	--

井戸泰	岡山縣平民	明治十四年九月	岡山中學
小林和三郎	廣嶋縣平民	全十四年一月	廣嶋縣第二中學
秋田哲	千葉縣平民	全十四年九月	千葉中學
守屋辰巳	岡山縣平民	全十四年一月	岡山中學
柴田信衛	埼玉縣平民	全十五年九月	埼玉縣第二中學
伊藤應隆	愛媛縣平民	全十三年十月	松山中學
黑田憲夫	廣嶋縣平民	全十三年四月	廣嶋縣第一中學
光本天造	廣嶋縣平民	全十六年十一月	全
小川六三郎	東京府士族	全十四年五月	大成中學

百七十六

第六高等學校大學豫科生徒道廳府縣別表

(明治三十六年十二月一日)

府縣別	級別		年級		年級		年級		通計
	一部甲	一部乙	二部甲	二部乙	三部甲	三部乙	三部小計		
東京府	三	五	四	二	五	二	四	二	二
京都府	〇	〇	〇	一	一	〇	六	一	〇
大阪府	一	三	〇	二	〇	〇	三	一	〇
兵庫縣	一	〇	一	二	〇	一	四	一	三
愛知縣	一	〇	三	一	一	二	六	一	三
岡山縣	七	〇	七	一	八	一	八	〇	三
福岡縣	〇	一	〇	二	一	〇	一	〇	二
岐阜縣	一	〇	一	二	〇	〇	六	〇	一
愛媛縣	二	一	〇	二	一	〇	四	一	二
廣嶋縣	五	三	五	四	四	〇	二	一	四
通計	三	五	四	二	五	二	四	二	二

百七十七



別級	府縣別												
	香川縣	佐賀縣	長崎縣	德嶋縣	山口縣	福井縣	群馬縣	鹿兒嶋縣	長野縣	福嶋縣	宮崎縣	沖繩縣	埼玉縣
部甲	二	三	〇	〇	〇	一	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇
部乙	一	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	一
年	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一
部甲	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
部乙	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
部乙	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
部乙	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
部小計	九	七	四	四	〇	一	三	〇	四	一	〇	三	九
部甲	一	一	〇	〇	一	一	一	〇	〇	〇	〇	〇	一
部乙	一	〇	〇	二	一	〇	一	〇	〇	〇	一	〇	一
年	一	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一
部甲	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一
部乙	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一
部乙	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一
部乙	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一
部小計	七	三	一	二	二	二	二	一	一	一	一	一	七
部甲	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
部乙	二	〇	一	〇	〇	一	一	一	一	一	一	一	二
年	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	二
部甲	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二
部乙	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
部乙	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
部乙	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
部小計	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	四
部甲	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
部乙	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二
年	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二
部甲	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二
部乙	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
部乙	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
部乙	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
部小計	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	四
通計	二〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

別級	府縣別												
	山梨縣	茨城縣	静岡縣	三重縣	和歌山縣	嶋根縣	富山縣	千葉縣	奈良縣	高知縣	鳥取縣	滋賀縣	府縣別
部甲	一	〇	二	一	一	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	部甲
部乙	〇	一	一	〇	三	〇	一	〇	〇	〇	二	〇	部乙
年	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	一	一	〇	〇	一	年
部甲	〇	一	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	部甲
部乙	一	一	一	〇	三	〇	〇	〇	〇	一	一	〇	部乙
部乙	一	一	一	〇	三	〇	〇	〇	〇	一	一	〇	部乙
部乙	一	一	一	〇	三	〇	〇	〇	〇	一	一	〇	部乙
部小計	二	三	五	一	七	一	一	二	一	一	三	一	部小計
部甲	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	一	〇	部甲
部乙	〇	一	一	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	部乙
年	〇	一	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	年
部甲	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	部甲
部乙	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	一	一	一	〇	〇	部乙
部乙	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	一	一	一	〇	〇	部乙
部乙	一	二	四	〇	〇	一	〇	一	〇	〇	〇	〇	部小計
部小計	一	四	六	〇	二	一	〇	三	一	三	二	〇	部小計
部甲	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	部甲
部乙	〇	〇	〇	〇	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	部乙
年	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	年
部甲	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	部甲
部乙	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	部乙
部乙	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	部乙
部小計	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	一	一	〇	〇	部小計
通計	三	七	三	一	三	一	一	七	三	五	五	一	通計

府縣別	一 年 級			二 年 級			三 年 級			通計
	一部甲	一部乙	三部小計	一部甲	一部乙	三部小計	一部甲	一部乙	三部小計	
神奈川縣	一	一	二	〇	〇	一	〇	〇	二	五
熊本縣	〇	一	一	〇	〇	一	〇	〇	〇	一
青森縣	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一
秋田縣	一	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	一	五
新潟縣	〇	〇	二	一	〇	四	〇	〇	一	六
栃木縣	〇	一	一	〇	一	二	〇	〇	〇	三
大分縣	〇	一	一	〇	一	一	〇	〇	〇	二
山形縣	一	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	〇	一
宮城縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
北海道廳	〇	〇	〇	〇	一	二	〇	〇	〇	二
岩手縣	〇	一	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一
石川縣	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一

百八十

總計	三	四	二	三	四	七	六	三	三	三	三	五	二	二	四	三	二	四	七
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

百八十一

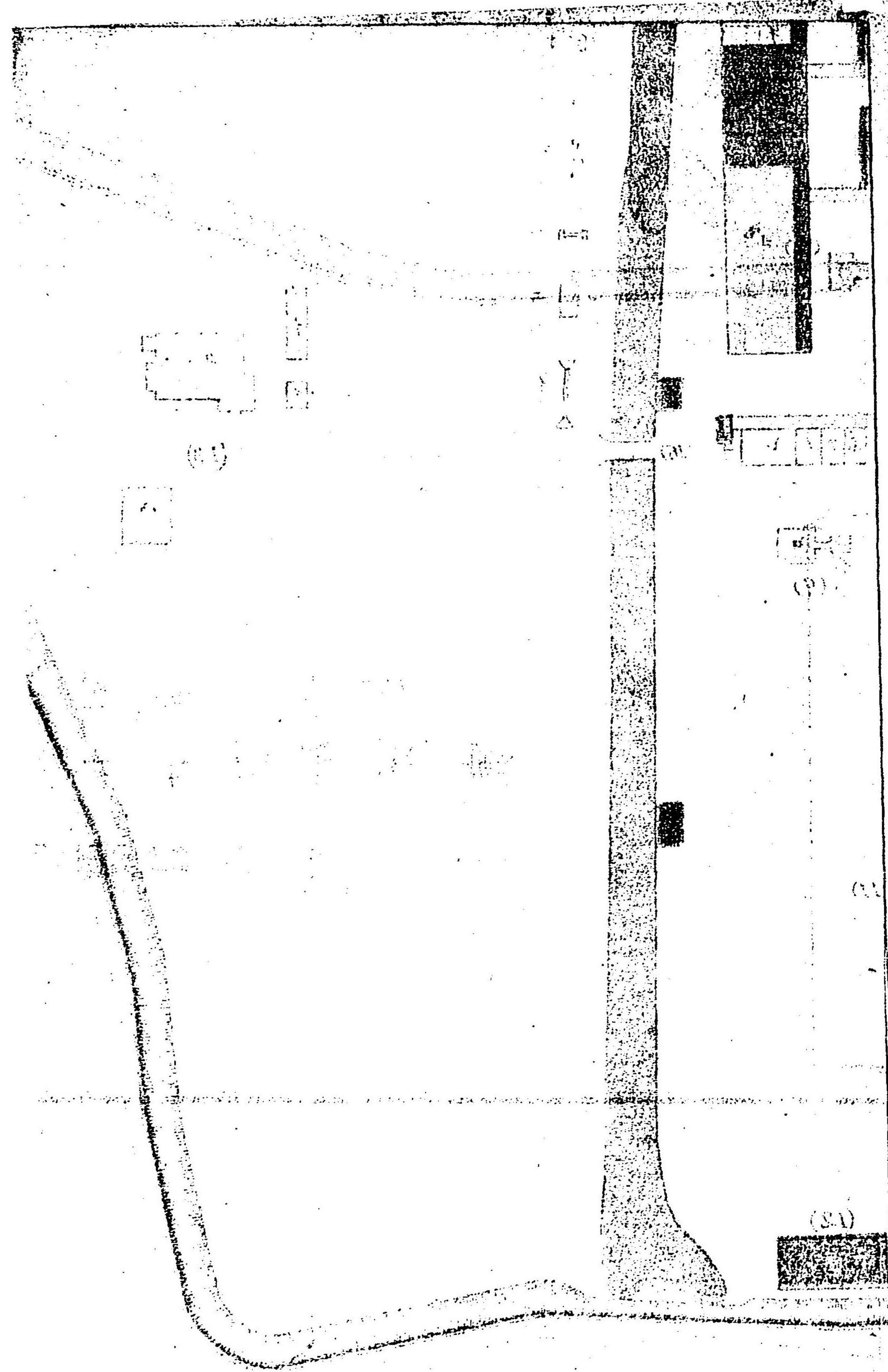
敷地及建物

第六高等學校ノ敷地ハ岡山縣岡山市大字門田字山手屋敷及大字國富字田中ニ跨リ其面積ハ二万三千四百二十七坪ニ合ニシテ之ニ建設セル建物ハ左記略圖ニ示スカ如シ

- (1) 本館
  - イ、事務室
  - ロ、應接室
  - ハ、受付室
  - ニ、教官室
  - ホ、校長室
  - ヘ、職員食堂
  - ト、教室
  - チ、圖書測量器械室
  - リ、圖書教室
  - ス、宿直室
  - ル、商人溜
  - ヲ、小便使室
  - ワ、實驗室
  - カ、井
  - ヲ、便所
  - ヰ、給水ポンプ室
- (2) 講堂
- (3) 物理學教室
  - ロ、準備室
  - ハ、ニ、器械室

- ホ、暗室
- ヘ、物理學實驗室
- (4) 化學教室
  - イ、化學講義室
  - ロ、準備室
  - ハ、藥品室
  - ニ、器械室
  - ホ、天秤室
  - ヘ、分標室
  - ト、蒸餾室
- (5) 生物學教室
  - イ、生物學講義室
  - ロ、動植物標本室
  - ハ、準備室
  - ニ、動植物實驗室
- (6) 門番所
- (7) 生徒扣所
- (8) 寄宿舎
  - イ、生徒昇降口
  - ロ、應接室
  - ハ、小便使室
  - ニ、生徒監室
  - ホ、生徒監寢室
  - ヘ、自修室

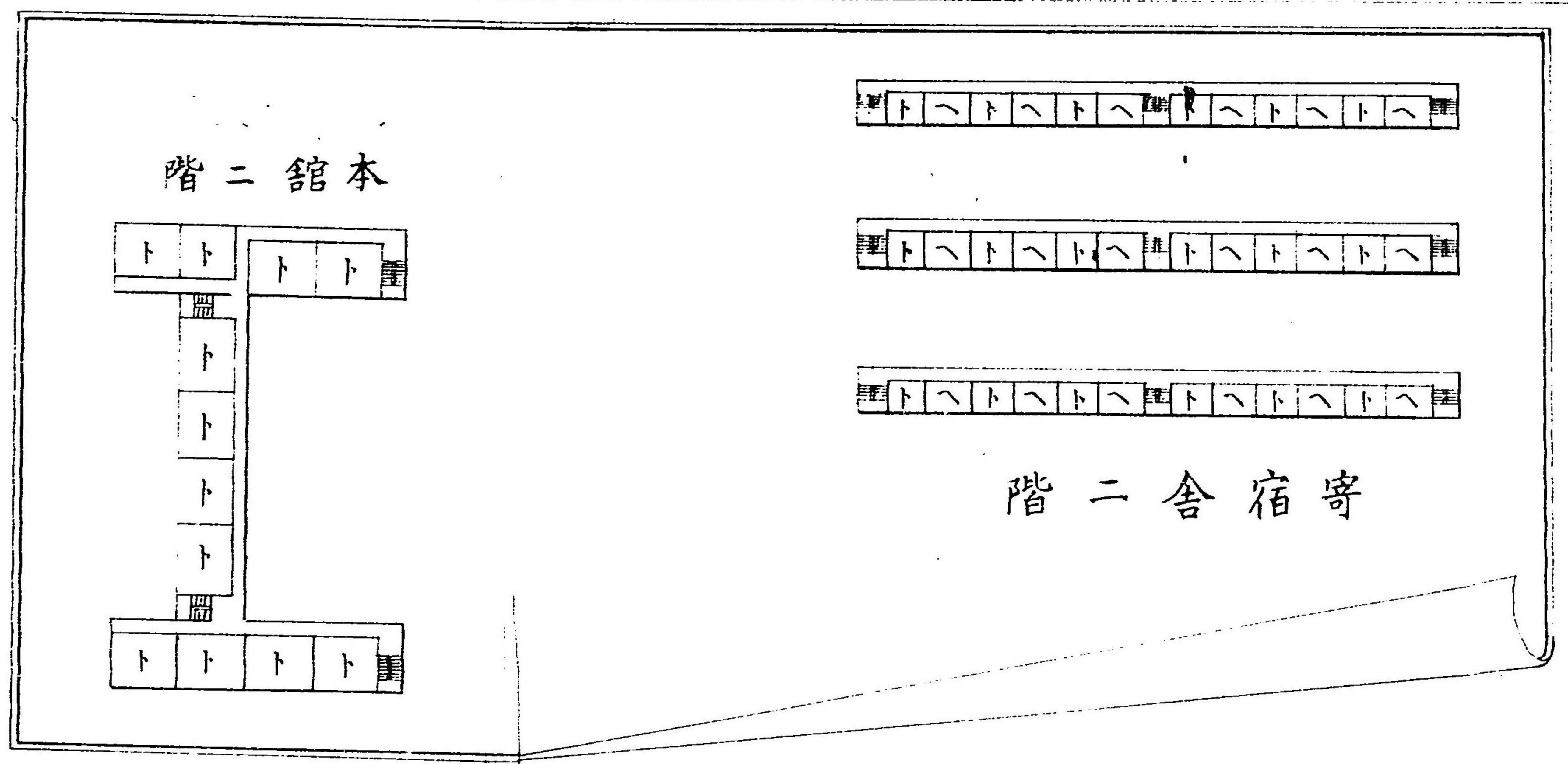




2/6/94

(S-1)

第六高等學校略圖



木造 □  
 石畳 ■  
 煉瓦疊 □  
 土間 ■  
 土手 ■  
 川廊 //  
 道路 ||  
 柵 ---

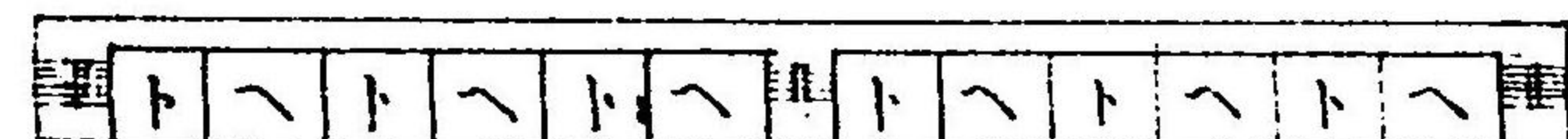
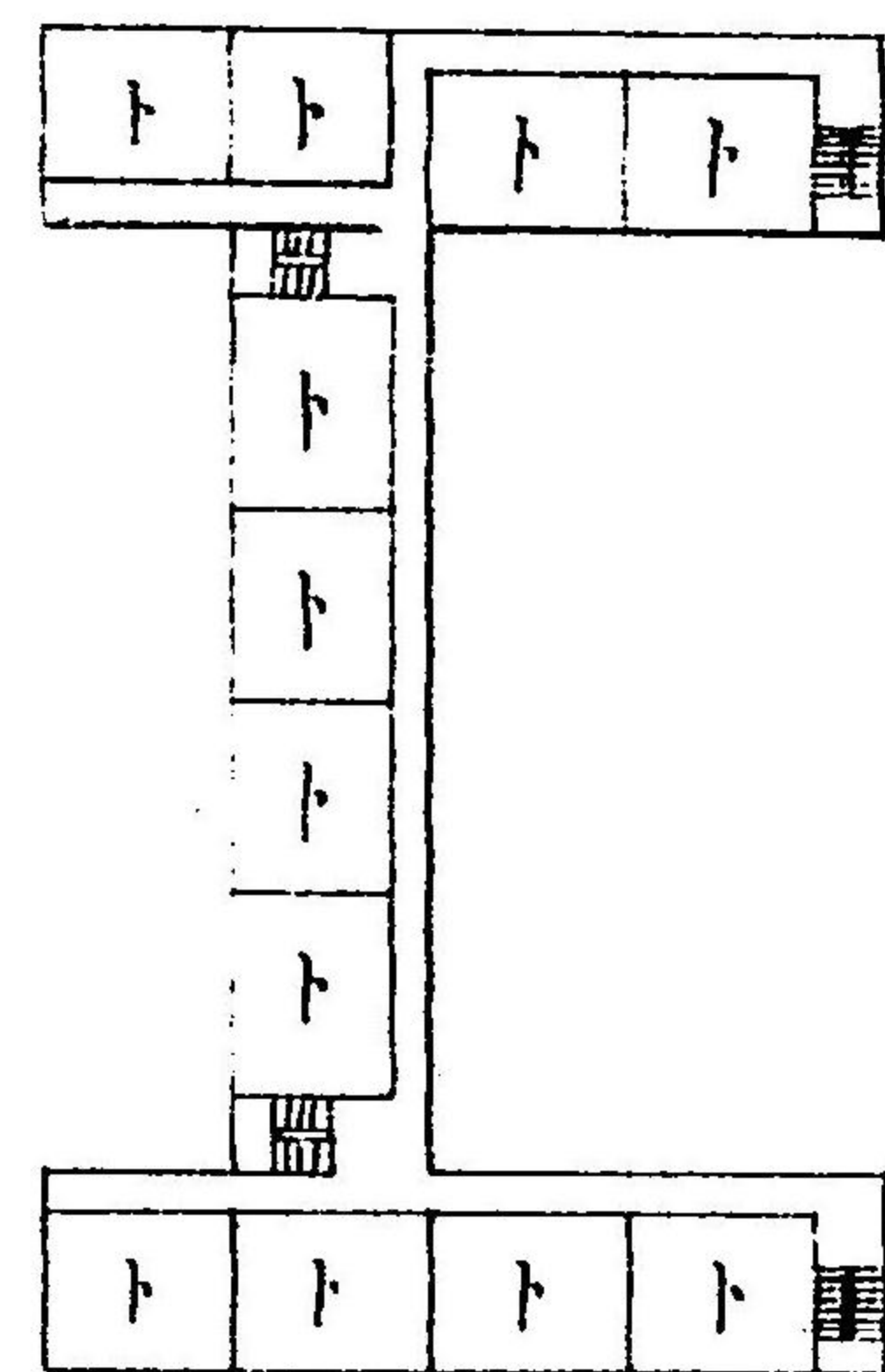
縮

(15)

(8)

(7)

本館二階



寄宿舎二階

柵 道 廊 川 土 土  
 路 下 手 間

(15)

(7)

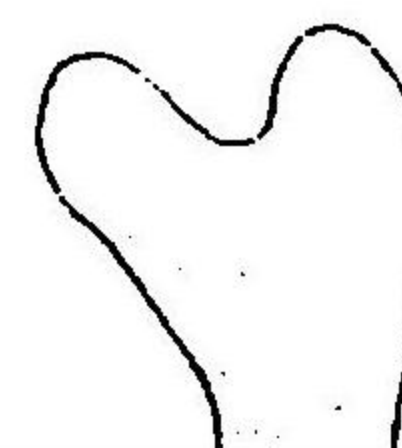
イ



井

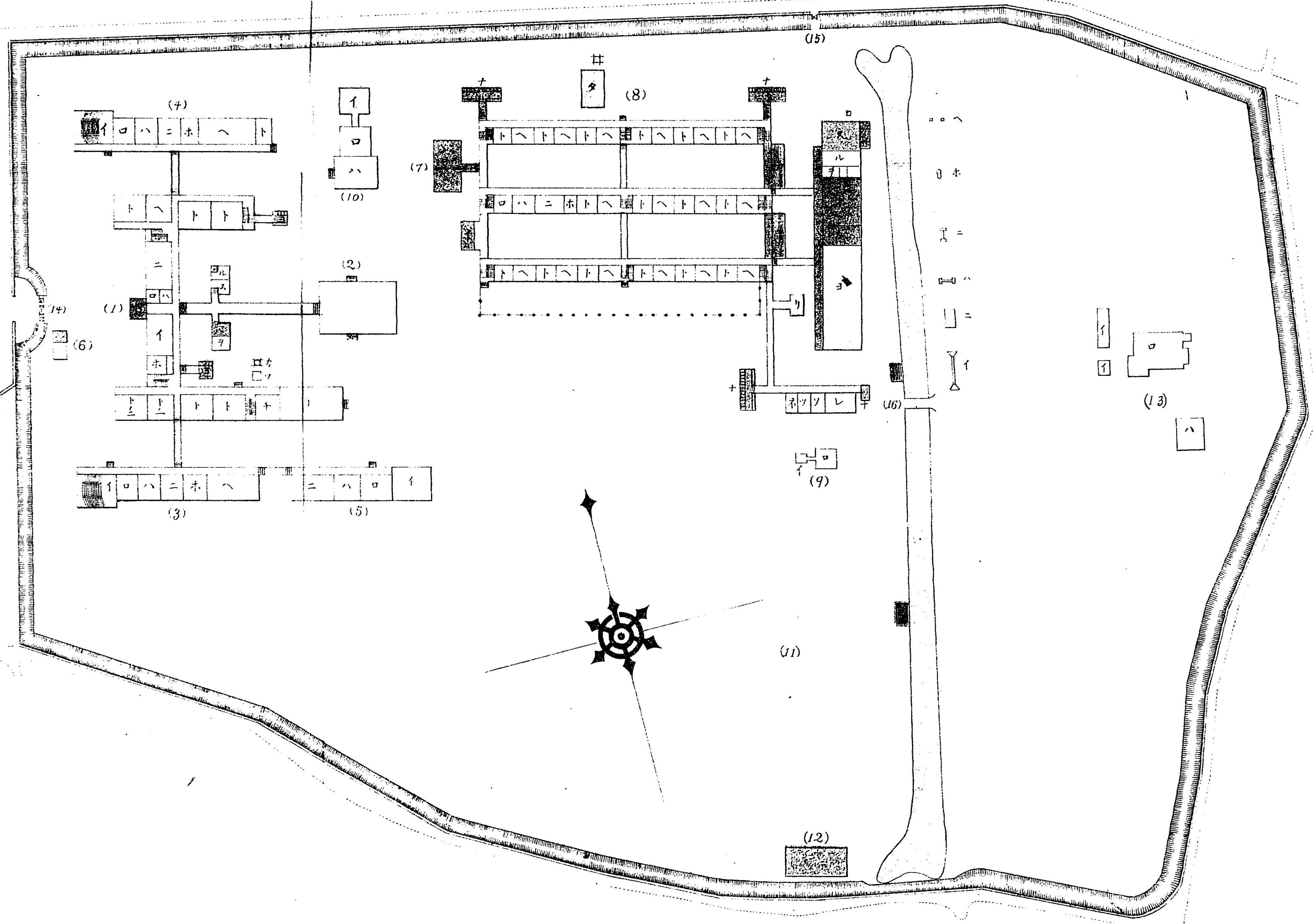


(8)



丁校略圖

縮尺千二百分の一







283

16

明治三十六年十二月二十一日印刷  
明治三十六年十二月二十五日發行

編纂兼發行者

第六高等學校

岡山市大字國富字田中

印刷者

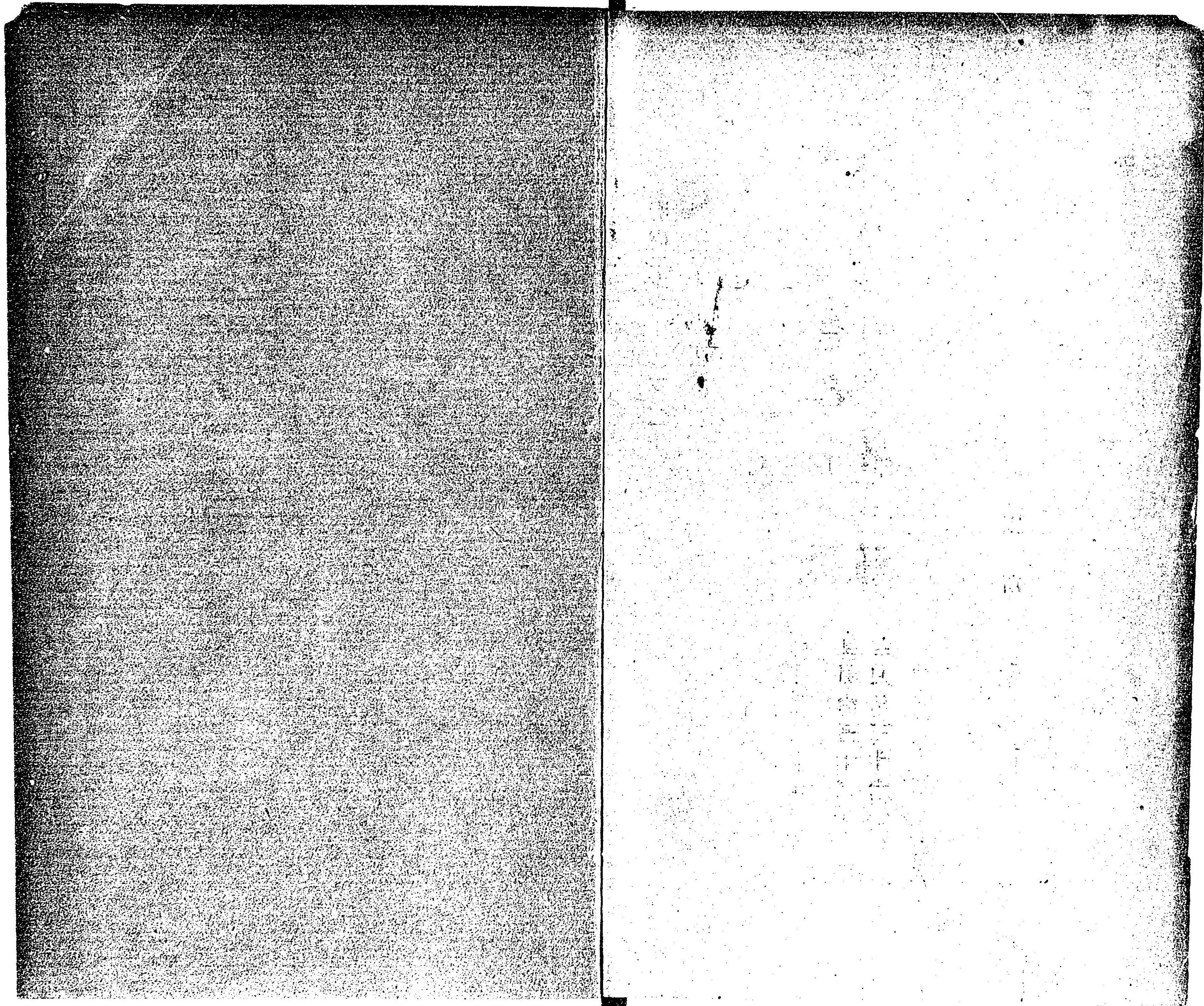
大久保石太郎

岡山市下出石町五番地

印刷所

大久保活版所

岡山市下出石町五番地



283  
16